

第2次御前崎市総合計画

令和2年度(2020) 施策評価シート

令和3年(2021) 8月



～子どもたちの 夢と希望があふれるまち 御前崎～

目 次

第2次御前崎市総合計画施策評価シート

(1) 美しい自然を次世代へ引継ぐ安全・安心なまち【くらし環境】	1
(2) 市民協働による居こちの良いまち【都市基盤】	14
(3) すべての人が健康で安心して暮らせる 支え合うまち【健康福祉】	21
(4) 働く場所とにぎわいがたくさんあるまち【経済産業】	32
(5) 郷土を愛し未来を創る人づくり 【教育文化】	40
(6) 市民とともに経営する自律したまち【経営管理】	49

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		1	豊かな自然環境の保全			
施策		1	自然特性を生かしたエネルギーの利用促進			
担当 部署	主管課	エネルギー政策課		責任者	主管課	齊藤 誠
	関係課	環境課			関係課	山口 敏徳

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	5,498	15,600	6,820	6,600
	県支出	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,243	5,199	4,990	5,179
合計(千円)		14,741	20,799	11,810	11,779

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	エネルギービジョンに掲げる「エネルギーのまち」の実現に向けて計画を進めている。新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金は目標値を達成している。
		課題	「エネルギーのまち」としての総合的なまちづくりを進めるため、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進など、市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要がある。また、エネルギーに関する学習機会を充実する必要がある。
	今後の施策展開	エネルギーのまちの実現に向けて、地産地消型の再生可能エネルギーの導入や省エネルギー、節電の取り組みを促進していく。また、エネルギー教育、学習機会を充実させ、エネルギーに関する理解を促進していく。	

施策の柱・目標	1. 「御前崎市エネルギービジョン」の策定 2. 家庭用新エネルギー機器・省エネルギー機器の設置推進 3. エネルギー学習の推進
---------	--

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	「御前崎市エネルギービジョン」策定	-	目標		基礎調査	計画策定	計画の推進	計画の推進	計画の推進	A	計画の推進	100.0%
			実績	—	基礎調査	計画策定	計画の推進	計画の推進	計画の推進			
2	新エネルギー・省エネルギー機器導入設置費補助交付件数	件	目標		2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	A	3,000	110.3%
			実績	1,859	2,213	2,369	2,566	2,696	2,757			
3	アース・キッズチャレンジ事業参加人数	人	目標	環境課が評価する。								
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
エネルギー政策課	エネルギー政策係	1	再生可能エネルギーを活用したEV充電設備等導入可能性調査事業	6,820	-	-	計画の推進	計画の推進	計画の推進	—	平成30年3月に『御前崎市エネルギービジョン』を策定し、これまでも各種事業を進めてきたが、事業計画がなくバランスを欠いた事業実施となっている。	『御前崎市エネルギービジョン中長期計画』を策定し、ビジョンの施策評価を可能とした上で、次年度以降の具体的な事業展開を図る。	拡大
エネルギー政策課	エネルギー政策係	2	新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金の交付	4,941	新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金件数	件	2,696	2,500	2,757	—	社会情勢の変化や国・県等の動向に合わせて、また、県内他市町の補助制度を参考にして補助制度の見直しを行う必要がある。	令和元年度に、補助対象機器及び補助率の見直しを行い、補助金交付要綱を改正した。今後も、必要に応じて見直しを行う。	改善・効率化
環境課	環境政策係	3	アースキッズチャレンジ事業		アースキッズチャレンジ実施児童数	人	環境課が評価する。						

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		1	豊かな自然環境の保全			
施策		1	自然特性を生かしたエネルギーの利用促進			
担当 部署	主管課	環境課		責任者	主管課	山口 敏徳
	関係課	エネルギー政策課			関係課	齊藤 誠

施策の柱・目標	1. 「御前崎市エネルギービジョン」の策定 2. 家庭用新エネルギー機器・省エネルギー機器の設置推進 3. エネルギー学習の推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	「御前崎市エネルギービジョン」の策定	-	目標 実績	エネルギー政策課が評価する。								
2	新エネルギー・省エネルギー機器導入設置補助交付件数	件	目標 実績									
3	アース・キッズチャレンジ事業参加人数 事業に取り組んだ児童の累積参加人数	人	目標 実績	603	680 691	760 774	840 891	920 1,042	1,000 1,143	A	1,400	114.3%
4			目標 実績									
5			目標 実績									
6			目標 実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費（千円）	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度）の方針
課名	係名				指標名	単位							
環境課	環境政策係	3	アースキッズチャレンジ事業	286	アースキッズチャレンジ実施児童数	人（累計）	151（1,042）	240（1,282）	101（1,143）	257（1,400）	コロナウイルス感染症予防から5校中2校の実施となったが、子どもたちが地球温暖化防止について学び温室効果ガス削減に取り組むことができた。	市内小学校のそれぞれの事情やコロナウイルス感染症予防の観点から地球温暖化防止センターが新たに設定した単独講座などを取り入れ取り組みやすい事業としていく。	改善・効率化
エネルギー政策課	エネルギー政策係	1	御前崎市エネルギービジョン策定業務委託（基礎調査）		-	-	エネルギー政策課が評価する。						
エネルギー政策課	エネルギー政策係	2	新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金の交付		新エネルギー・省エネルギー機器導入促進補助金件数	件							

【投入されたコスト】

投入コスト（千円）		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	441	770	286	689
合計（千円）		441	770	286	689

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	アースキッズチャレンジ事業は、子供たちがリーダーとなって各家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラム。今後も学校、県、地球温暖化防止センターと連携し環境学習を持続していく。
	今後の施策展開	課題	地球温暖化を始めとする様々な環境問題が、いろいろなところで発生しています。未来を担う子供に引き続き学習機会を提供し意識の向上を図る必要がある。
アースキッズチャレンジを通して、環境問題の解決のために子供が気づき地球にやさしい生活の知恵を身に付け、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに繋げていく。			
総合評価	5	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		1	豊かな自然環境の保全			
施策		2	自然環境の保全と環境学習の推進			
担当 部署	主管課	環境課		責任者	主管課	山口 敏徳
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 自然環境の保全と学習機会の提供
---------	--------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	海岸清掃ボランティア数	人／年	目標		500	550	600	650	700	／	750	***
	亀バックホーム大作戦参加人数		実績	490	470	1022	1018	152	***			
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
環境課	生活衛生係	1	不法投棄パトロール及び清掃業務委託	377	パトロール及び清掃の日数	日	週2回	週1回	週1回	週1回	民地への不法投棄は発見しても回収することができないため、土地所有者が不法投棄をされないよう、土地の管理を行ってもらう必要があるが、周知が徹底されていない。	民地への不法投棄は、土地所有者に撤去処分等の責任が生じる。土地所有者に自身の土地の確認、管理を行ってもらうよう、様々な媒体での情報の発信、広報に努める。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	762	400	377	400
合計(千円)		762	400	377	400

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	不法投棄パトロールを定期的 to 実施し、投棄されたごみを回収しているため、官地の環境美化は概ね維持されている。海岸についてはボランティア団体の活動により漂着ごみの回収や処理が行われている。
	課題		近年、生態系や人への健康被害が懸念される海洋プラスチックごみ問題の解決が地球規模での喫緊の課題となっている。
今後の 施策展開			市民や事業、行政が一体となって、ごみゼロ運動や海岸の清掃活動を通じてごみを捨てにくい環境づくりに取り組みます。

総合 評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である
----------	---	---

【政策・施策名】

基本目標	1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策	2	快適な生活環境の整備			
施策	1	住みよい環境衛生の整備			
担当部署	主管課	環境課	責任者	主管課	山口 敏徳
	関係課			関係課	

施策の柱・目標	1. ごみの適正処理と再資源化の推進 2. 動物の適正飼育の推進 3. 公害防止対策の強化 4. 火葬場の整備推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度												
No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	市民一人当たりのごみの排出量	g/人・日	目標		940	920	900	880	863	B	850	92.5%
	排出量÷人口÷365日		実績	951	980	948	941	930	933			
2	飼い猫・地域猫の避妊去勢手術件数	件(累計)	目標		200	300	400	500	600	A	1,100	133.7%
	年間100件を目標とする		実績	129	393	497	615	735	802			
3	環境保全協定(公害防止協定)件数	件(累計)	目標		40	41	42	43	44	B	45	93.2%
	年1件以上		実績	39	40	40	40	40	41			
4	火葬場の整備推進	—	目標						建設開始		適正稼働	
			実績	—					—			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
環境課	生活衛生係	1	生ごみ処理機器設置費補助金	70	市民一人当たりのごみの排出量	g/人・日	930	863	933	860	コロナ禍によるステイホームにより市民一人当たりのごみ排出量は増加した。生ごみ処理機設置について予算額に達するまで申請があったが、それらの効果については見えにくい。	生ごみ処理機を設置することによる、ごみの削減効果を市民に分かりやすく広報する。	改善・効率化
環境課	生活衛生係	2	飼い猫適正飼養補助金 地域猫去勢避妊手術業務委託	348	避妊・去勢手術件数	件(累計)	120 (735)	110 (745)	67 (802)	173 (975)	飼い主の避妊、去勢の意識は定着してきているが、野良猫が民家の敷地内で出産してしまった際の対応についての相談が増加している。	県、動物管理指導センター、市動物保護協会と連携し、室内飼いを推奨していく。	現状維持
環境課	生活衛生係	3	河川、地下水、港湾水質調査自動車騒音	2,046	苦情件数	件	18	17	17	16	水質汚濁・振動・騒音・悪臭の苦情について、発生を無くすことは難しいため、発生時の迅速な苦情対応が求められている。	苦情の発生原因の分析、解明を迅速に行い、事業者に対して改善を図るよう、行政指導を行う。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他	100	100	100	100
	一般財源	4,711	3,039	2,364	3,099
合計(千円)		4,811	3,139	2,464	3,199

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	コロナ禍によるステイホームにより市民一人当たりのごみ排出量は増加した。公害対策は、原因者への適切な指導と苦情への迅速な対応に努めている。飼い猫の適正飼育について、広報誌、動物病院へチラシ配布などを通じ市民へ周知を図っている。
		課題	人口の減少が進むにも関わらず、ごみ排出量の大幅な減少につながらない原因として、事業系ごみの増加が考えられるため改善が必要となる。
	今後の施策展開	ごみの分別やごみ出しマナーが悪い地区を対象に、出前講座を実施すると共に、事業系ごみの排出量が多い事業所へ個別指導を実施する。火葬場の整備は、広域での運営を視野に入れ関係市と協議の上、推進していきます。	
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		2	快適な生活環境の整備			
施策		2	きれいな水を守る生活環境の整備			
担当 部署	主管課	上下水道課		責任者	主管課	河原崎 聡信
	関係課				関係課	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	15,613	23,199	31,358	30,626
	県支出	8,084	4,970	8,397	8,227
	地方債	26,100	13,200	17,400	13,612
	その他				
	一般財源	108,510	128,367	102,422	59,754
合計(千円)		158,307	169,736	159,577	112,219

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	汚水処理人口普及率は前年度より増加している。令和元年度から企業会計へ移行し、運用を行っている。農業集落排水の統合については、県に長期利用財産処分報告書及び事業計画変更協議申出書を提出済み。施設の耐震化について総合地震対策計画に基づき進めている。長寿命化については、ストックマネジメント計画に基づき進めている。
	課題	独立採算制の原則を意識した企業経営に留意する必要がある。 農業集落排水事業の下水道事業への統合については、経営的にも効率的なものにする必要がある。 施設の維持管理や更新の財源を確保する必要がある。	
	今後の施策展開	ストックマネジメントに基づき、効率的な更新を行うなど、今後も快適な生活環境を整備していく。	
総合評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

施策の柱・目標	1. 生活排水処理による公共用水域の水質汚濁防止 2. 地方公営企業法適用による下水道事業健全化 3. 下水道施設の統廃合に向けた取り組み 4. 下水道施設の地震対策と津波浸水対策 5. 下水道施設の長寿命化整備
---------	--

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	汚水処理人口普及率	%	目標		77.6	77.7	77.8	77.9	80.0	A	83.0	107.9%
	下水道と合併浄化槽の普及率 実績		76.4	77.6	81.6	79.7	83.9	86.3				
2	企業会計導入	%	目標		—	—	—	導入	導入	A	運用	100.0%
	企業会計への移行 実績		—	—	—	—	運用	運用				
3	農業集落排水を浄化センターへ接続	%	目標		—	—	—	—	16.7	D	66.7	0.0%
	浄化センターに接続した施設の割合 実績		0	—	—	—	—	0.0				
4	下水道施設の耐震化率	%	目標		43.0	44.0	45.0	46.0	47	B	55	167.2%
	耐震化計画施設に対する耐震化済施設の割合 実績		38	43.0	43.0	43.0	66.6	78.6				
5	下水道設備の長寿命化率	%	目標		66.0	67.0	68.0	69.0	70	D	80	55.0%
	対象設備数に対する長寿命化対策済設備数の割合 実績		66	66.0	66.0	95.2	95.2	38.5				
6			目標									
	実績											

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
上下水道課	下水道係	1	下水道・農業集落排水の公共枿の設置	19,820	公共枿設置箇所	箇所	35	30	40	35	前年度に比べ、設置数が増加した。	未接続世帯に対し、加入を促す方法を検討し、引き続き下水道の普及を推進していく。	現状維持
上下水道課	下水道係	1	合併処理浄化槽の普及推進	106,374	浄化槽設置基数 (補助金対象)	基	115	75	120	85	目標より45基多く申請があり、前年度に比べ設置数が増加した。	未設置世帯に対し、設置を促す方法を検討し、引き続き合併処理浄化槽の普及を推進していく。	現状維持
上下水道課	下水道係	2	地方公営企業会計移行業務委託及び 担当職員の企業会計移行に向けた研修 へ参加	0	研修への参加回数	回	2	2	2	2	地方公営企業会計を適正に行うため、eラーニングを使用した研修を受講し、職員の知識向上に努めた。	今後も正確な財務諸表の作成を行っていく。 担当職員の知識向上のため、研修等に参加していく。	現状維持
上下水道課	下水道係	3	農業集落排水を公共下水道への統合に 向け、関係省(農林水産省や静岡県)と 協議を実施	0	協議回数	回	5	3	3	3	統合事業に係る財源確保が必要である。	建設財源の確保など統合を進めることができる体制 作りをしていく。	現状維持
上下水道課	下水道係	4	管路及び処理施設の耐震・耐津波診断 業務委託、管路の浮上抑制・耐震化工 事	23,704	委託及び工事の実施回数	回	1	1	1	1	地震対策計画に基づき高松浄化センターの沈砂池・管理 棟耐震補強工事を実施し、災害時にも下水道事業を継続 するための耐震化を進めた。	財政状況を見ながら、総合地震対策計画に基づき計 画的に地震対策を行っていく。	現状維持
上下水道課	下水道係	5	長寿命化計画に基づき、対象機器の更 新及び長寿命化工事	9,679	委託及び工事の実施回数	回	2	1	1	1	ストックマネジメント計画に基づき、公共下水道マンホール ポンプ遠方監視システムの更新工事を実施し、クラウド化 に着手した。	財政状況を見ながら、ストックマネジメント計画に基づ き計画的に地震対策を行っていく。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		2	快適な生活環境の整備			
施策		3	いつでもどこでもおいしく飲める水道水			
担当 部署	主管課	上下水道課		責任者	主管課	河原崎 聡信
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 安定供給と管理体制の充実 2. 適切な水道料金体制の継続 3. 耐震管路への推進 4. 水道施設の維持管理および耐震化の推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	水道水が「おいしく飲める」と回答した人の割合	%	目標		84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	B	90.0	96.2%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	83.2	33.1	30.3	34.6	31.0	82.7			
2	水道料金回収率	%	目標		62.6	62.2	61.8	61.4	61.0	A	58.0	117.2%
	給水原価に対する供給単価の割合。水道原価がどの程度料金に回収されているかを表す。		実績	63	62.6	67.2	75.8	72.5	71.5			
3	管路の耐震化率	%	目標		20.2	20.7	21.2	21.7	22.2	B	25.2	99.1%
	管路の総延長に対する耐震管の延長の割合(K型継手は、軟弱地盤では耐震管に適合しないため含まない)。		実績	19.2	20.4	21.2	21.6	21.8	22.0			
4	水道施設の耐震化率	%	目標		-	-	-	-	88.9	B	100.0	75.0%
	配水施設9カ所のうち耐震基準をクリアした施設の割合。		実績	66.7	-	-	-	-	66.7			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
上下水道課	上水道係	1	水質の管理	2,996	配水池区内の水質検査	回	1,524	1,520	1,520	1,520	市内4ヶ所の給水末端における毎日検査は個人に委託している。現在委託している方が対応できなくなった場合の代理を確保しておくことが必要である。	市内各所において定期的に水質検査を継続し、安心安全でおいしい飲料水の確保に努める。代理の方(検査ポイント)について情報収集をしていく。	現状維持
上下水道課	総務係	2	水道料金の管理収納	22,400	料金収納率	%	98.7	98.3	98.7	98.3	委託業者を管理監督することで、目標料金収納率を達成できている。	委託業者と密に連絡を取り、計画的な徴収業務を行っていく。	現状維持
上下水道課	上水道係	1 2 3	老朽管の更新	130,733	老朽管の更新延長	m	1,004	1,410	1,426	1,961	成果指標上の目標に近い進捗状況ではあるので、概ね計画どおりであると考えている。	料金改定により収益力が向上すれば事業費にも反映されるため、料金改定を確実に進めていきたい。	現状維持
上下水道課	上水道係	1 4	水道施設の管理	3,325	配水池の施設点検	回	60	60	60	60	定期的に点検を行い、施設修繕・部品交換・清掃を実施している。	機器の点検等を早期かつ確実に実施し、費用が高騰する前に修繕・部品交換等を行っていく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出		69,278	17,905	13,384
	県支出				4,517
	地方債	80,000	70,000	100,000	183,000
	その他				
	一般財源	33,408	30,329	41,549	84,125
合計(千円)		113,408	169,607	159,454	285,026

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	水質については適切な管理を行っており、検査値は常に基準内に収まっている。健全な経営を維持するため、料金体系の見直しを行っている。市民の生活に欠かせないライフラインとして、災害に耐える強靱な施設の構築・維持を行っている。耐震化事業では、基本計画(R1～R10)に沿って進めている。
	課題		人口減少や節水型家庭用機器の普及による料金収入の増加が見込みにくい中、水道施設の老朽化や耐震化に伴い更新需要が増大していくことから、水道施設及び財政の健全性を確保し、時代や環境の変化に的確に対応しつつ安心・安全な水道水の安定供給を持続していく必要がある。
総合 評価	今後の 施策展開		アセットマネジメントに基づく適切な資産管理や、水道料金を適宜見直し健全な経営を維持していくことで、「安全な水」「強靱な水道」「水道サービスの持続」の3つの観点から、将来を見据えた時代や環境の変化に対応できるように業務を進める。
	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

※R2年度分からアンケート設問変更
(水道水の安全性について、安全又はどちらかといえば安全だと思っている人の割合)

【政策・施策名】

基本目標	1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち
政策	2	快適な生活環境の整備
施策	4	地域を結ぶ移動手段の確保
担当部署	主管課 関係課	企画政策課 責任者 主管課 関係課 清水 正明

施策の柱・目標	1. 利用者のニーズに合わせた移動手段の確保 2. 地域協働バスの推進 3. 近隣自治体との連携
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	1人当たりの自主運行バス年間利用回数	回	目標		2.41	2.41	2.40	2.40	2.40	B	2.40	79.2%
	人口に対する年間利用者数の割合		実績	2.42	2.37	2.34	2.50	2.47	1.90		-	
2	8地区のうち導入を希望する地域協働バスの導入割合	%	目標		100	100	100	100	100	A	100	100.0%
			実績	100	100	100	100	100	100		-	
3	近隣自治体との連携による課題検討会の1年間の開催回数	回	目標		2	2	2	2	2	A	2	250.0%
			実績	0	2	4	2	2	5		-	
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
企画政策課	企画係	1	利用促進策の実施	152,900	実施回数	回	0	1	1	1	新型コロナウイルスによる自粛や度重なる緊急事態宣言の影響により利用者は減少した。引き続き利用しやすい運行ダイヤや運行ルートなど検討が必要である。	近隣市と協議し運行ルートの変更や運行ダイヤの見直し、事業者と共に検討していく。	改善・効率化
企画政策課	企画係	1	自主運行バス乗降者数調査の実施	76	実施回数	回	1	1	1	1	利用頻度や行先・通学先などを把握し、今後の事業継続に向けた資料とすることができた。	ルートの変更やダイヤ改正も視野に入れ、利用者へのアンケート調査も検討していく。	現状維持
企画政策課	企画係	2	導入地域への支援	1,654	支援地域	地区	5	5	5	5	車検等の整備やガソリン等の経費を支援し継続的な運行が図られた。(新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、運行休止期間や利用制限等を実施)	年間を通し1件の事故(自損事故)が発生したため、交通ルールの徹底と運転教室等を実施していく。	現状維持
企画政策課	企画係	2	導入を希望する地区への支援	0	支援地域	地区	1	0	0	0	導入を希望する地区はなかったが、引き続き利用形態の統一化が課題となっている。	ボランティア運転手の高齢化や運行形態など、各地区でバラつきのある運用の統一化を検討していく。	改善・効率化
企画政策課	企画係	3	地域公共交通会議の開催	0	回数	回	5	2	4	2	新型コロナウイルス感染拡大防止に考慮して書面による会議を開催し、報告・協議を実施したが、委員からの意見は少なく、専門的な意見も必要である。	会議のマナー化もあり、意見も少なくなっている。問題を絞った協議の場も検討していく。	改善・効率化
企画政策課	企画係	3	近隣自治体との自主運行バスに関する連絡調整会議等への参加	0	回数	回	2	3	5	5	牧之原市、菊川市、島田市との連絡会議に参加し情報共有や課題解決を図るとともに、牧之原市との共通課題(特急路線の延長)について協議を重ねた。	当市の公共交通施策は、近隣市との協議及び連携が不可欠であり、課題解決に向け、定期的な協議(打合せ)をしていく。	拡大

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	0	0	0	
	県支出	5,754	5,754	11,848	11,860
	地方債	0	0	0	
	その他	65,236	70,829	62,392	67,091
	一般財源	91,025	79,218	80,390	79,773
合計(千円)		162,015	155,801	154,630	158,724

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	自主運行バス事業により市内バス路線の維持を図り、学生や高齢者等の交通手段を確保するとともに、地域協働バスの運行により公共交通空白地域の高齢者等の移動手段を確保している。新型コロナウイルスの影響により利用者は減少したものの、概ね目標値は達成している。
	課題		高校のスクールバス撤退により路線バスの利用ニーズは高まっており、基幹路線となる特急バスの延伸についても検討・要望が必要である。また、地域協働バスは、統一的な運用を検討する必要がある。
今後の 施策展開			牧之原市と連携し、特急バスの延伸について事業者へ要望・協議を実施し、令和4年度の運行を目指す。更に基幹路線の設定後は市内線等の見直しを図っていく。また、地域協働バスは、運営主体へのヒアリングを行い、統一的な考えのもと運用の見直しを図る。
総合 評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		1	交通事故のない環境づくりの促進			
担当 部署	主管課	危機管理課		責任者	主管課	澤入 厚志
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 交通安全意識の向上と交通安全対策の充実
---------	------------------------

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	6,461	8,000	6,986	8,000
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	14,046	13,266	11,773	13,799
合計(千円)		41,773	21,266	18,759	21,799

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	交通安全会による街頭広報、交通指導員による「ゼロの日街頭指導」や「ピカッと作戦」を実施し、交通安全意識の高揚を図り、市民に対して交通安全を呼び掛けた。
	今後の 施策展開	課題	交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、高齢者が起因する事故や交差点での事故が多く発生している。
高齢者向けの交通安全教育の強化及び「思いやり・ゆずり合い」運転の推進を図る。			
総合 評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	人口1万人当り事故件数(年換算)	件	目標		61	60	58	57	55	A	48	169.2%
	年間人身事故発生件数÷御前崎市人口×10,000		実績	61.2	50.6	51.2	51.7	39.0	32.5			
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
危機管理課	交通防犯係	1	交通安全対策の充実	18,759	人身事故発生件数	件	126	183	103	100	年間の人身事故件数は減少しているが、高齢者の起因する事故については依然として多いため、対策を講ずる必要がある。	高齢者事故に対する交通安全対策の充実を図っていく。	現状維持

令和2年度 静岡県御前崎市施策評価シート

施策コード P1-3-2

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		2	犯罪のない安全安心なまちづくり			
担当 部署	主管課	危機管理課		責任者	主管課	澤入 厚志
	関係課	商工観光課			関係課	樽林 昭彦

施策の柱・目標	1. 防犯対策の充実(危機管理課) 2. 消費者被害対策の充実(商工観光課)
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	犯罪率(年)	%	目標		0.37	0.36	0.36	0.35	0.35	A	0.32	184.2%
	年間刑法犯数÷御前崎市人口×100		実績	0.37	0.43	0.35	0.39	0.26	0.19			
2	防犯パトロール実施率(年度)	%	目標		55.4	57	58.7	60.3	62	D	70	46.8%
	青パト実施日数÷年間開庁日数×100		実績	59	49.2	58.2	38.1	32.6	29.0			
3	消費者被害者救済率(年度)	%	目標	商工観光課が評価する。								
	消費者相談件数に対する消費者被害の解決率		実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

[illegible]

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	4,345	4,280	3,543	3,851
	合計(千円)	8,625	4,280	3,543	3,851

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	町内会が設置する防犯灯に補助金を交付することにより、防犯灯の充実を図り、夜間の犯罪抑止や市民の不安解消が図れた。
		課題	犯罪被害を未然に防ぎ、減少させるためには、多岐にわたる防犯対策が不可欠であり、犯罪発生情報を把握し、広報啓発活動により、市民一人一人の防犯意識を向上させる必要がある。
	今後の施策展開	警察や防犯関係機関と連携しながら、犯罪発生情報の提供や広報啓発活動を実施し、市民一人一人の防犯意識の向上を図る。	

【施策の進捗状況・評価】

5. 施策目標を十分達成している
4. 概ね施策目標を達成している
3. どちらともいえない
2. やや施策目標に達していない
1. 施策目標の達成には遠く、早急の見直しが必要である

4

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		2	犯罪のない安全・安心なまちづくり			
担当 部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課	樽林 昭彦
	関係課	危機管理課			関係課	澤入 厚志

施策の柱・目標	1. 防犯対策の充実 2. 消費者被害対策の充実
---------	-----------------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	犯罪率(危機管理課)	％	目標 実績	危機管理課が評価する。								
2	防犯パトロール実施率(危機管理課)	％	目標 実績									
3	消費者被害者救済率(年度) 消費者相談件数に対する消費者被害の解決率	％	目標 実績	88	90 79	90 83	90 95	90 91	90 98	A	93	108.9%
4			目標 実績									
5			目標 実績									
6			目標 実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
商工観光課	商工係	3	消費生活相談	0	相談件数	件	63	70	61	70	新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が増え、先行きが不安になった消費者が、副業や情報商材の契約を結び高額な利用料を請求されるトラブルが相次いだ。	被害の未然防止を図るため、市民に対していち早い情報提供を行っていく。	現状維持
商工観光課	商工係	3	消費者被害防止啓発活動	452	啓発人数	人	2,000	2,200	500	2,200	新型コロナウイルス感染症によりイベント事業が減少したため啓発活動の人数も減少した。	少人数規模の講座の開催や街頭での啓発活動を消費者団体と行っていく。	現状維持
商工観光課	商工係	3	相談対応のレベルアップ	172	研修参加	回	7	6	0	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった研修が多かったが、新手の詐欺被害が増え続けており、相談解決に向けた知識の習得が必要である。	オンラインでの参加を含め、積極的に研修へ参加することを検討していく。	現状維持
危機管理課	交通防犯係	1	防犯対策の充実		犯罪発生件数	件		危機管理課が評価する。					
危機管理課	交通防犯係	2	防犯対策の啓発		防犯パトロール実施回数	回							

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出	181	300	150	0
	地方債				
	その他				
	一般財源	524	356	350	752
合計(千円)		705	656	500	752

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	消費者グループとともに啓発活動を強化し、詐欺被害等未然防止に努めており、相談件数の減少など一定の成果が出ている。
	課題	今後、高齢化が進み、独居老人が増加するなど、消費者被害の拡大が懸念される世帯に対し、今以上に効果的な啓発活動を展開する必要がある。	
今後の施策展開		警察、福祉課、高齢者支援課等関係機関と連携を図り、高齢者や障害者の被害未然防止事業を実施していく。 また、相談対応の的確化、迅速化を図るため、担当者に積極的な研修参加を促していく。	
総合評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		3	災害に強い防災体制の整備と周知			
担当 部署	主管課	危機管理課		責任者	主管課	澤入 厚志
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 地震・津波に対するハード・ソフト両面での防災対策の整備 2. 地域の実情にあった防災体制の整備と防災訓練の実施 3. 避難行動をとることのできる知識の普及
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	防災訓練参加率	%	目標		54	54	55	55	56	D	60	3.0%
	（総合防災訓練参加者数+地域防災訓練参加者数） / 年度当初人口		実績	53	51	53	51	53	1.7			
2	災害協定の整備件数	件	目標		50	50	50	50	50	A	55	138.0%
	災害協定の整備件数		実績	46	51	59	66	66	69			
3	防災指導員数	人	目標		12	12	12	12	12	A	16	150.0%
	防災指導員の人数		実績	10	12	15	15	17	18			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
危機管理課	災害対策係	1	自主防災組織育成事業交付金交付	7,354	交付団体数	団体	41	41	41	41	各方面隊・自主防災会において、運営及び訓練等に係る経費に有効活用することにより、自主防災組織の強化が図られている。	交付金を有効利用することにより、自主防災組織運営の充実を図り、方面隊・自主防災会役員の防災意識の高揚を図ることが重要である。	現状維持
危機管理課	災害対策係	1	自主防災組織防災資機材整備補助金交付	19,086	交付団体数	団体	38	41	40	41	現在各方面隊・自主防災会で所有している資機材を精査しながら感染症予防(新型コロナウイルス)対策や女性視点を含めた災害用資機材の備蓄も考慮した計画を立て、更なる充実を図ることが必要である。	資機材調査を毎年実施しているが、資機材の購入計画を立てパンデミック対策や女性視点の備蓄用品について各方面隊・自主防災会も考えてもらい、備蓄していく。	現状維持
危機管理課	災害対策係	1	防災委員等育成講演会の開催	0	開催回数	回	1	1	0	1	毎年1回、テーマを決めて開催している。昨年度は南海トラフ地震臨時情報の話題から、津波に関する講演会を予定していたが、コロナ禍で実施することができなかった。	コロナ禍により市全体での防災講演会の開催は難しい面があるため、自主防災組織単位や各団体ごとの出前講座や、HUG等の研修会の開催を呼びかけていく。	現状維持
危機管理課	災害対策係	2	災害協定の締結	0	協定締結数	件	66	66	69	72	過去に締結した協定について現状に合わせた内容を確認し、見直しが必要な場合は関係団体等と協議し、協定の再締結を進めている。	過去の災害や昨今のパンデミックの状態を踏まえ、今まで締結した協定について内容を再精査し、後期基本計画で指標として定め、新たな協定締結に向けて関係事業者等へ話をして必要な協定を締結していく。	現状維持
危機管理課	災害対策係	3	防災指導員の推薦依頼	0	防災指導員数	人	17	17	18	20	各方面隊の理解が得られ、着実に人数が増えている。ただし、防災指導員の受け手不足が危惧される中で、女性視点の防災対策も今後重要となるため、女性の参加が課題である。	各方面隊や現職の指導員に対して女性目線での防災対策の重要性を訴え、後期基本計画で指標として定め、女性防災指導員の登用を推進していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出	39,619	57,666	31,621	67,685
	地方債				
	その他	1,223	2,263	1,033	1,291
	一般財源				
合計(千円)		40,842	59,929	32,654	68,976

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	令和2年度は世界的な新型コロナウイルスの大流行により、南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練を実施することができなかった。防災指導員は着実に増え、各方面隊・自主防災会の防災体制の強化が図れてきていると考える。また、災害協定については過去の大震災等を踏まえて新規締結・見直しを進めている。
	課題		自主防災組織の役員は1年で交代してしまうため、引き継ぎ体制の確立や防災意識の共有・継承が課題である。方面隊・自主防災会の女性の役員登用も難しい状況にあるが、女性の参加により、きめ細やかな配慮者等の防災対策を充実させることが必要である。まずは、防災指導員に女性登用が必要である。
総合評価	今後の施策展開		自主防災組織の役員の中に女性目線・要支援者目線を取り入れていくため、まずは防災指導員の中に女性を登用してもらえるように各方面隊へ推薦を依頼していく。災害協定は過去に結んだものは現在の実情にあった内容のものに更新し、新たに締結するものは現状を鑑みて精査し、事業者等へ話をかけて締結を進めていく。防災メールは現在2700件程度の利用率となっているが、災害時の情報ツールの一躍を担うため、登録を推進していく。
	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		4	消防・救急救助体制の充実			
担当 部署	主管課	消防総務課		責任者	主管課	長尾 季之
	関係課	予防課・消防署			関係課	

施策の柱・目標	1. 組織体制の強化 2. 火災防火体制の推進 3. 消防団組織の維持
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	人口1万人当たりの出火率	件	目標		4.99	4.68	4.38	4.07	3.77	B	3.10	79.2%
	年間火災発生件数を人口で除した数(最終目標は全国平均)		実績	5.29	4.20	4.50	3.40	2.50	4.76			
2	救急車の現場到着平均時間	分秒	目標		10分	9分	9分	8分	8分	A	8分00秒	111.6%
	119番通報から現場到着までの平均時間(最終目標は全国平均)		実績	10分43秒	10分16秒	9分27秒	8分36秒	7分16秒	7分2秒			
3	消防施設および人員の充足率	%	目標		67	69	71	73	88	B	98	88.6%
	消防庁舎に必要な数、職員定数、車両台数の比率を案分		実績	67	66	68	75	76	78			
4	消防団協力の事業所数	事業所	目標		19	20	20	21	21	C	23	71.4%
	5年間で2事業所の増加		実績	19	18	20	32	25	15			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署			指標 No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名					指標名	単位							
予防課 消防署	予防課 消防署	予防係 警防係	1	市民に対し、火災予防の広報活動を行い、事業者に対し防火指導をすることによって火災を予防するための事業。	75	人口1万人当たりの出火率	件	2.5	3.8	4.8	3.8	昨年度と比較し、野焼き以外のその他火災は7件、建物火災は2件増加し、高齢者が2名死亡した。全国的にも火災死者数の高齢者の占める割合は高いことから、住宅防火対策へのさらなる取り組みや市民に対する防火の意識付けが必要である。	防火広報や野焼き警戒を実施し、火災減少に努めるとともに、高齢者の火災死亡率を減らすよう防火診断の件数を徐々に増加していくことも検討する。	改善・効率化
消防総務課	総務係		2	現場到着時間の短縮と災害時に対応するため市街地に消防署を建設し施設の維持管理並びに車両と資器材を整備する事業	36,491	市街地に消防庁舎を建設。救急車1台の更新。施設維持管理を行う。	%	100	100	100	100	財源確保が難しく、車両更新計画が先延ばしにならざるを得なくなっている。	現状の車両や資器材を最大限活用しながら、より迅速かつ確実な活動が可能となるよう	現状維持
消防総務課 消防署	総務課警防係 救急係 救助係 警防係		3	災害時に対応するため消防資器材を購入し常時安全に使用するため点検等の維持管理を行う事業。	8,856	現場活動用資器材を更新し維持管理を計画的に行う。	%	100	100	100	100	現場活動に必要な車両及び資器材の更新に係る財源確保が厳しくなっている。	更新事業が計画通り進んでいないことから、円滑な消防業務が遂行できるよう適切な車両及び資器材の維持管理を行い、資器材の延命化を図る。	現状維持
消防総務課 消防署	総務係 警防係 消防署 救急係 救助係 警防係		3	職員に対し資格を取得させ研修を行い、仕事の範囲を増やし、能力を向上させる事業。	7,004	資格取得及び教育機関への派遣実績。	人	87	80	70	80	財源確保が難しく、年々資格取得や教育機関への派遣人数が減少している。	研修を受けた職員が他の職員にできるだけフィードバックすることで、職員の能力向上を保っていく。	改善・効率化
消防総務課	総務係		3	消防指令センターを共同運用することによって単独運用に比べ経費と人員を削減し人材を有効活用するための事業。	23,222	センター派遣職員3名の継続的な派遣	人	3	3	3	3	平成24年に運用された消防指令センターであるが、機器の耐用年数により、令和7年度に向けて全更新を行う必要がある。	全更新費用が概算経費15億円(5消防本部)かかる見込みである。機器の見直し等経費削減のため、財政部局とも調整しながら協議を重ねていく。	改善・効率化
消防総務課	総務係 警防係		3	消防救急業務の広域化によって、組織を大きくし災害に対応することを目的に、広域化のためのデータ収集等の検討を行う事業。	0	事務担当者による打ち合わせを実施。	回	3	5	2	4	コロナ禍により後期は会議自体が中止され、「消防の連携・協力」の協定が滞ってしまった。連携協力に関して各消防から研修や訓練の実施日について情報提供し、積極的な合同訓練が実施された。	東遠地区の「消防の連携・協力」協定締結に向け、菊川市・掛川市消防本部との協議を進めていく。	改善・効率化
消防総務課	消防団係		4	市内の事業所に消防団に対する協力を依頼し、理解を深め団員の確保を行う事業。	68	パンフレット送付枚数	枚	180	169	176	176	団員が勤務する事業所に消防団員募集のパンフレット等を配布しているが、御前崎市だけではなく全国的にも消防団員が減少傾向にある。	消防団員が勤務している事業所以外の事業所についても消防団員募集のパンフレット等を配布し、消防団員確保のためPR活動を行う。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	2,996	0	0	2,039
	県支出	850	876	702	1,594
	地方債	0	0	0	0
	その他	208	0	183	0
	一般財源	54,943	80,172	74,831	80,397
合計(千円)		140,045	81,048	75,716	84,030

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	3. どちらもいえない
		説明	救急業務については、目標を達成している。それ以外の項目については、目標を達成することが出来なかった。引き続き、市民の安全安心の確保のため、消防力の強化に努めていきたい。
	課題		質の高い市民サービスの提供や複雑多様化する自然災害にも耐え得る更なる消防力の強化を図るため、職員一人ひとりの能力向上や計画的な車両、資機材の整備に努めなくてはならない。また、消防団においては、今後とも消防団機能を維持・継続していくため、引き続き団員確保に努める必要がある。
今後の 施策展開			御前崎市消防整備計画に沿い、計画的な人材育成や日々の訓練を行い、個々の能力向上を図るとともに組織体制の更なる充実を図ります。消防団については、消防団組織の再編に向け、消防本部、消防団本部役員及び各地域が一つとなり、消防団の環境改善を図り団員確保に努めています。
総合 評価	3		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		1	美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち			
政策		3	安全・安心な地域づくり			
施策		5	原子力に関する正しい知識の普及			
担当 部署	主管課	エネルギー政策課		責任者	主管課	齊藤 誠
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 原子力に関する情報発信の推進
---------	-------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	原子力ホームページにアクセスした数	回/年	目標		4,820	4,840	4,860	4,880	4,900	B	5,000	81.7%
			実績	4,800	2,690	6,400	2,955	3,028	4,003			
2	視察・見学会などに参加し60%以上理解できた人の割合	%	目標		50	51	51	52	52	A	55	175.0%
			実績	50	76	75	92	84	91			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
エネルギー政策課	原子力政策係	1	原子力関連HPの更新	0	閲覧回数	回/年	2,955	4,900	4,003	-	アクセス数は目標値を下回った。いかにホームページを觀てもらえるかが課題である。	タイムリーな情報更新を行うとともに掲載内容を検討し、ホームページの充実を図る。(ただし、令和3年度からの後期計画からは評価項目から外す)	改善・効率化
エネルギー政策課	原子力政策係	2	原子力施設視察研修の対応	362	視察研修実施団体数	団体	20	12	4	13	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は市内4小学校による原子力発電所視察のみの実施となった。従って課題や問題点を検証するに至らなかった。	左記のとおり評価ができなかったため業務改善ではないが、各団体の視察目的に見合った視察箇所の検討をし、正しい知識を習得していただく。	現状維持
エネルギー政策課	原子力政策係	2	市内学生原子力関連施設見学会	0	開催回数	回	1	1	0	1	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は事業を取りやめた。従って課題や問題点を検証するに至らなかった。	左記のとおり評価ができなかったため業務改善ではないが、視察内容等を検討し参加人数の増加に努める。	現状維持
エネルギー政策課	原子力政策係	1	原子力広報VTR作成	4,950	再生回数	回	-	100	125	-	令和2年度に作成した動画の再生回数は目標値を上回った。しかし、更に多くの市民に観ていただく工夫も必要である。	閲覧方法を検討し、より多くの方に観ていただく。(ただし、令和3年度からの後期計画からは評価項目から外す)	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	10,683	10,421	5,312	10,761
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
合計(千円)		10,683	10,421	5,312	10,761

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	小学生を対象とした発電所見学会において、参加した91%の小学生が内容を理解し目標値を達成できた。また、原子力ホームページへのアクセス数は、目標値に届かなかった。
	課題		浜岡原子力発電所が運転を停止してから10年となる。これまでの原子力を取り巻く環境変化を踏まえ、原子力に関する正しい知識の普及、理解促進に努める必要がある。
総合 評価	今後の 施策展開		市民が、原子力について正しい知識を持ち、正しく理解してもらうための機会を提供するとともに、子供から高齢者までの幅広い世代が分かりやすい情報、関心を寄せる情報を発信していく。
	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標	2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策	1	市民がくつろげる空間の保全と充実			
施策	1	市民の憩いの場となる公園管理			
担当部署	主管課	管理課		責任者	主管課
	関係課	農林水産課			関係課
					樽林 浩史

施策の柱・目標	1. 公園施設長寿命化計画に基づく、適正な維持管理 2. 市民協働による、自然と調和した公園景観の管理
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	公園施設長寿命化計画に基づく施設修繕の実施率	%	目標		5	20	30	40	50	A	100	113.4%
			実績	—	6	21	33	44	57			
2	公園が憩いの場であると感じる市民の割合 市民意識調査アンケートの数値	%	目標		61	62	63	64	65	C	70	64.9%
			実績	61	28.6	31.2	28.3	29.6	42.2			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他	40	40	15	15
	一般財源	108,344	92,011	89,341	90,046
合計(千円)		108,384	92,051	89,356	90,061

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	公園長寿命化計画に基づく適正な管理と、職員の目視による確認や前倒し発注等を行ったことにより、安全・安心な公園施設の維持管理を行うことが出来た。
	課題		市の財政が厳しくなる状況と、長寿命化計画に現状との若干の差異が生じてきていることを踏まえ、業者点検のみだけでなく、職員の判断による維持管理のための改修工事が必要となっている。
今後の施策展開			公園長寿命化計画に基づき、公園施設の状況を確認しながら柔軟な対応を行うことにより、安全・安心な公園の維持管理に努める。
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

※R2年度分からアンケート設問変更
(市内の公園について、管理が行き届いている(景観が保たれている)と思っている人の割合)

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
管理課	施設管理係	1,2	公園施設改修工事	2,468	施設改修公園数	箇所	6	8	5	5	限られた予算の中で、長寿命化計画とおりに改修工事(修繕・更新)を進めることができない。また、沿岸部の公園では、塩害による劣化のため、計画より前倒しの改修工事を行う必要が生じている。	長寿命化計画を基本としながらも、現場に応じ、優先順位を確認しながら、柔軟に対応する。	現状維持
管理課	施設管理係	2	公園施設維持管理業務	86,888	維持管理公園、保全林	箇所	28	28	28	28	地域団体との協働により、24公園と4保全林の維持管理を実施できている。	引き続き、適正な維持管理を行っていく。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		1	市民がくつろげる空間の保全と充実			
施策		2	土地の有効活用による生活基盤の充実			
担当 部署	主管課	都市政策課		責任者	主管課	阿形 正巳
	関係課				関係課	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	47,887	60,000	52,719	50,126
合計(千円)		47,887	60,000	52,719	50,126

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	・都市マスタープランについてはR元年度に完了した。 ・街路整備については、「池新田中央線」の用地交渉を進めており側溝布設など部分的な工事に入っている。
		課題	街路整備については引き続き「池新田中央線」の用地交渉を行い早期完成を目指す。今後は難航地権者との交渉が控えており、交渉に時間を要する可能性がある。
	今後の施策展開	・都市マスタープランについてはR元年に完了している。 ・街路整備については今後も引き続き県と連携して「池新田中央線」の用地交渉を実施する。	

施策の柱・目標	1. 御前崎市都市計画マスタープランの改正 2. 土地の有効活用
---------	-------------------------------------

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	御前崎市都市計画マスタープラン改正	%	目標			37	63	100	100	A	100	100.0%
	実績		0		37	63	100	100				
2	街路整備率	%	目標		77.0	78.0	79.0	79.5	80.0	A	85.0	102.3%
	実績		76.3	78.6	79.8	79.8	80.4	81.8				
3			目標									
	実績											
4			目標									
	実績											
5			目標									
	実績											
6			目標									
	実績											

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
都市政策課	政策係	1	都市計画マスタープラン改正	0	改正の進捗率	%	100	100	100	100	都市計画マスタープラン改訂版がR元年度完成し、今後の都市計画の基本的方針を示すことができた。	無	終了
都市政策課	政策係	2	都市計画道路の整備促進	52,719	街路事業整備率	%	80	80	80	80	現在池新田中央線の用地交渉を県土木事務所に協力し実施しているが、今後も交渉が難航する可能性有	継続して用地交渉を実施する。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		2	災害に備えた生活基盤の充実			
施策		1	地震に強い住宅改修の整備推進			
担当 部署	主管課	都市政策課		責任者	主管課	阿形 正巳
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. わが家の専門家診断の推進 2. 木造住宅の耐震補強の推進
---------	------------------------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段: 指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	わが家の専門家診断により診断を受けた割合	%	目標		19	22	25	28	30	C	50	30.0%
	旧耐震基準にて建築された住宅棟数を分母とし、専門家診断を受けた棟数を分子とする。		実績	16	17	18	18	19	9			
2	住宅の耐震基準を満たしている割合	%	目標		66	67	68	69	70	A	75	98.7%
	旧耐震基準にて建築された住宅棟数＋S56以後の住宅棟数を分母として、新耐震基準にて建築された住宅棟数、耐震基準を満たしている住宅棟数＋耐震補強実施棟数を分子とする。		実績	65	67	68	68	69	69			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
都市政策課	建築住宅係	1	プロジェクト「TOUKAI－O」の推進	424	耐震化無料診断事業	件	13	20	9	20			
都市政策課	建築住宅係	2	プロジェクト「TOUKAI－O」の推進	0	既存建築物耐震性向上事業	件	3	9	0	0			
都市政策課	建築住宅係	2	プロジェクト「TOUKAI－O」の推進	4,144	木造住宅耐震補強補助事業	件	7	9	4	7			現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	2,571	3,409	2,212	4,221
	県支出	2,910	4,458	1,459	2,678
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,986	3,327	897	1,745
合計(千円)		14,467	11,194	4,568	8,644

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	・ダイレクトメールや戸別訪問等により制度のPRを行うことで「わが家の専門家診断」の実施件数の増加を図ったが伸び悩んでいる。 ・住宅の耐震化率ついては目標を達成しているが、耐震補強工事は行われているものの、旧耐震基準の家屋の除却による分母の減少という要因も含まれている。
	課題		居住者の高齢化や自己負担額が大きいことから耐震診断結果を受けても耐震工事まで至らない住宅がある。 また、耐震診断自体を受けていない住宅もまだ多くある。
今後の施策展開			引き続き、制度のPR活動を積極的に行っていく。 今後は、家屋の倒壊など被災に備えるためにも耐震化が必要であることを周知していく。
総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		2	災害に備えた生活基盤の充実			
施策		2	安全・安心な道水路網の整備			
担当 部署	主管課	建設課		責任者	主管課	本杉 英
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 道路利用者(主に市民)の道路整備及び維持管理
---------	---------------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	道路整備に対して満足している市民の割合	%	目標		66	67	68	69	70	C	75	67.3%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	66	47.3	45.4	46.0	44.1	47.1			
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
建設課	道路河川整備係	1	各種団体(近隣市町)と連携した道路整備の推進	800	国県への要望活動	回	8	8	6	6	道路広域ネットワーク整備の促進には、国・県・周辺市町との協力が不可欠であるため、更なる連携が必要である。	道路広域ネットワーク整備は、緊急避難路としての役割も増加していくと考えられ、国・県・周辺市町との広域的な連携を更に強化していく。	現状維持
建設課	道路河川整備係	1	市道の効果的な整備	382,871	年度内施工予定路線の整備率	%	94	100	91	100	市道整備には多額の費用がかかり、一部路線では用地交渉が難航し工事施工に影響が生じている箇所があるが、主要幹線道路に重点を置き、計画に沿った確実な工事施工に向けた対応が重要となる。	効率的に道路整備が進められるよう、用地交渉を円滑に進めるとともに、主要幹線道路を優先して計画的に整備を実施していく。	現状維持
建設課	道路河川整備係	1	河川の計画的な改修	140,438	年度内施工予定河川の改修整備率	%	100	100	100	100	河川改修には多額の費用がかかり、一部の市街地においては個人の工作物等が接近しているため、施工区間調整に手間がかかる。	多発する台風や豪雨により河川や水路の氾濫が増加し、改修の重要性が高まっている。地元と連携し、計画的な維持管理を図っていく。	現状維持
建設課	道路河川整備係	1	地区要望箇所とりまとめ	62,501	地区要望の施工率	%	87	91	89	91	地区からの要望に対し、緊急性・必要性などを検討するとともに、費用対効果も考慮する必要がある。	緊急性・必要性を検討し、要望書の内容に対して地元町内会の理解が得られる説明を行うとともに、地区間での調整を図りながら必要な整備を実施していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出	75,299	91,575	86,588	112,764
	県支出	0	0	0	0
	地方債	346,700	212,600	212,200	264,600
	その他	0	0	0	0
	一般財源	307,083	262,643	287,822	168,948
合計(千円)		729,082	566,818	586,610	546,312

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	令和2年度に計画した道路・水路整備は概ね順調に進捗している、地区要望にも緊急性・必要性を考慮して対応した。
	課題		地権者の理解が得られず、事業効果が発揮できない路線が発生するなど満足度向上につなげていない。
今後の施策展開			道路や河川、水路の改修事業を計画的かつ着実に進めることで、速やかな事業効果を発現し、これにより、住民満足度を上げていく。なお、目標数値は、アンケート結果を踏まえ、後期計画で見直しを図った。
総合評価	1		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		2	災害に備えた生活基盤の充実			
施策		3	道路施設の耐震化の推進			
担当 部署	主管課	建設課		責任者	主管課	本杉 英
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 橋梁耐震化の促進
---------	-------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	橋梁耐震化が完了した割合	%	目標		30	35	40	45	50	B	100	88.0%
	被災した場合の交通影響や復旧費用を考慮し、分母は橋長10m以上の橋梁64橋。分子は耐震化実施橋梁。		実績	23	31	34	34	39	44			
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出	3,538			
	地方債	8,000			
	その他				
	一般財源	968			
合計(千円)		12,506	0	0	0

（橋梁の耐震化については、修繕工事(委託含む)と同時施工しており、2-3-1にて計上しているため、0円として表示している。）

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である
		説明	耐震化対象橋梁64橋のうち、令和2年度までに28橋の耐震化が完了した。
	課題		現時点において、進捗が遅れており、最終目標の100%は達成可能な数字ではない。 耐震化対象橋梁のうち、対策の優先順位を付け再整理する必要がある。
今後の施策展開			修繕と合わせ対象橋梁の耐震化について整理した橋梁個別施設計画に基づき、年1橋ペースで耐震化を実施していく。 なお、後期計画では、目標値を51%に変更した。

総合評価	1	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である
------	---	---

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
建設課	維持管理係	1	橋梁耐震化の促進	0	橋梁耐震化工事の完了割合	%	39	50	44	45	坂田中橋の修繕工事と併せて耐震工事を実施し、効率的に耐震化を実施できた。	修繕と耐震の同時施工を基本方針とする橋梁個別施設計画に基づき、。効率的な耐震化を目指す。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		3	道路施設の長寿命化体制の確立			
施策		1	道路施設のメンテナンスサイクルの確立			
担当 部署	主管課	建設課		責任者	主管課	本杉 英
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 道路施設点検と計画的な維持管理の推進
---------	-----------------------

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	28,041	20,075	28,380	23,100
	県支出				
	地方債	35,200	14,700	11,000	14,900
	その他				
	一般財源	6,031	1,725	24,332	9,000
合計(千円)		69,272	36,500	63,712	47,000

【進捗評価】

A 100%以上

B 75%以上100%未満

C 50%以上75%未満

D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	対策未実施の残り1橋については、橋梁個別施設計画に基づき令和4年度に事業着手予定である。
		課題	道路施設のうち、橋梁については個別施設計画を策定し効率的な維持管理ができる体制が整ったものの、舗装をはじめとする他の道路施設の効率的な維持管理体制は整っていない。
	今後の施策展開	橋梁だけではなく、他の道路施設のメンテナンスサイクルの確立を目指す。	

総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である
------	---	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	橋梁の修繕が完了した割合	%	目標		70	80	100	100	100	B	100	97.0%
	実績		6	73	80	90	97	97				
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
建設課	維持管理係	1	橋梁修繕工事等の実施	29,117	橋梁修繕数	橋	4	1	1	1	2巡目の橋梁定期点検で、健全度が目標管理水準を下回った坂田中橋の修繕を実施することができた。	1巡目及び2巡目の橋梁定期点検で、健全度が目標管理水準を下回っている囃橋の対策が未実施のため、対策完了を目指す。	改善・効率化
建設課	維持管理係	1	橋梁定期点検の実施及び橋梁個別施設計画の策定	29,645	実施業務数	業務	1	1	1	0	2巡目の橋梁点検と併せて、橋梁個別施設計画を策定し、橋梁の計画的な維持管理を実施できる体制となった。	橋梁個別施設計画に基づき、効率的な維持管理を実施することを目指す。	改善・効率化
建設課	維持管理係	1	橋梁修繕設計等の実施	4,950	委託橋梁数	橋	2	1	1	2	2巡目の橋梁定期点検で、健全度が目標管理水準を下回った新橋歩道橋の詳細設計を実施することができた。	道路メンテナンス事業補助金の活用及び新技術等の導入等も視野に入れながら、委託業務を遂行することを目指す。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標		2	市民協働による居ごちのよいまち			
政策		3	道路施設の長寿命化体制の確立			
施策		2	道水路の協働による管理・保全の推進			
担当 部署	主管課	建設課		責任者	主管課	本杉 英
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 協働による道路・河川愛護活動の推進
---------	----------------------

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出	254	250	340	250
	地方債				
	その他				
	一般財源	31,264	33,550	31,013	34,750
合計(千円)		31,518	33,800	31,353	35,000

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらもいえない
		説明	新型コロナウイルス感染拡大により、道路愛護活動の路線数が減少に転じたものの一定の活動量は確保できて、補助金交付額は前年度同等の額となった。
		課題	地域住民の高齢化が進んでおり参加人数の減少や活動の縮小が懸念される。また、財源の確保が課題となる。
今後の施策展開		今後も社会情勢変化に柔軟に対応しながら愛護活動を推進しつつ、補助金や県の河川愛護補助金額の増額について引き続き要望していく。	

総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である
------	---	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	道路愛護活動実施路線数	路線	目標		179	212	245	278	311	C	476	74.3%
	町内会などで実施している道路愛護活動路線数。(同じ路線でも実施団体が異なれば複数路線とする)		実績	146	201	217	229	254	231			
2			目標									
			実績									
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
建設課	維持管理係	1	道路愛護活動の支援	5,496	道路愛護活動の支援	路線	254	311	231	311	新型コロナウイルス感染拡大により、前年度より活動面積及び路線数が減少した。	規模の拡大、財源の確保に努める。	現状維持
建設課	維持管理係	1	河川愛護活動の支援	25,857	河川愛護活動の支援	河川	23	23	24	23	昨年度より河川愛護活動実施河川が増加した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、前年度より活動面積が減少した。	県へ補助金の増額を要望していくとともに、予算確保に努め、規模の拡大、財源の確保に努める。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		1	安心して出産・子育てができる環境整備			
施策		1	子どもを安心して産み育てることができる環境づくり			
担当 部署	主管課	こども未来課		責任者	主管課	鈴木 則子
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 健全な出産・育児を支える体制の整備 2. 地域で安心して子育てができる環境の整備 3. 子育て相談・情報提供、親子交流機会の充実
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	育児満足度(1. 6歳、3歳) 各健康診査アンケート「満足」「まあまあ満足」の割合	%	目標	87.3	88.0	88.0	89.0	89.0	90.0	A	100.0	101.7%
			実績	87.3	93.1	94.5	94.0	94.0	91.5			
2	子育て支援センター延べ利用者数	人/年	目標	20,516					20,000	D	20,000	48.2%
			実績	20,516	40,926	39,369	31,226	21,835	9,639			
3	家庭相談員の認知度 市民意識調査アンケートの数値	%	目標	42.0					60.0	D	100	32.5%
			実績	40.0	—	23.0	15.3	17.6	19.5			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
こども未来課	子育て支援係	2	子育て支援センター事業の充実 (委託2箇所分)	14,743	子育て支援センター年間 利用者数	人	15,503	20,000	2,491	20,000	令和2年度より人員削減と利用者数との調整により、子育て支援センター「びよびよ」は閉所となった。また新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため各施設の一時閉所により年間利用者数が減少した。	利用者が安全・安心して利用できるように、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と本事業の周知を図り、利用促進を図っていく。	現状維持
こども未来課	子育て支援係	2	子育て支援センター事業の充実 (直営3箇所分)	1,393	子育て支援センター年間 利用者数	人	12,020	—	7,148	—	令和2年度より人員削減と利用者数との調整により、子育て支援センター「さくらんぼ」及び「たけのこ」は園事業に変更となった。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため各施設の一時閉所により年間利用者数が減少した。	利用者が安全・安心して利用できるように、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と本事業の周知を図り、利用促進を図っていく。	現状維持
こども未来課	子育て支援係	3	子育て相談の充実	4,476	相談件数(延件数)	件	3,402	3,000	4,635	3,000	家庭相談員の認知度は、目標値より低いが、相談件数は前年度に比べ増加した。子育てについての悩みや不安、家庭の経済的問題等、多岐にわたる相談に応じ支援をすることができている。	母子保健や成長支援事業にて、ストレスの強い母や孤立している母に対し、家庭相談員の周知に努める。園小中学校からの相談事例に対し、必要な家庭には家庭相談員につながる。	現状維持
こども未来課	母子保健係	1	妊婦健康診査の実施	15,696	母子手帳交付者の初回健 診受診率	%	101.4	98	98.8	98	対象者のうち、年度を超えて受診される方がいるため実績値は100%を切っているが、実際には未受診者はいなかった。毎月、受診状況を確認している。	安心・安全な出産を迎えることができるように、引き続き、未受診者には、医療機関との連携をとりながら、受診勧奨を図る。	現状維持
こども未来課	母子保健係	1	家庭訪問の実施	651	出生児の訪問率	%	102.2	98	96.6	98	出生児全件への家庭訪問に努め実施している。新型コロナウイルス感染症の拡大により、里帰り期間が長期化している方がいるため、里帰り先に訪問依頼し、対応している。	乳児の健やかな成長と母親の育児不安の軽減を図るため、引き続き、生後2か月以内の出生児全件への家庭訪問に努める。	現状維持
こども未来課	母子保健係	1	乳幼児健康診査の実施	3,354	健診受診率	%	95.4	100	100.3	100	前年度の未受診者が年度を超えて受診したため、受診率が100%を超えた。新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、健診の延期と感染症対策のための注意喚起の通知が、受診率向上につながった。	引き続き、利用者が安心して受診できるよう新型コロナウイルス感染症対策の徹底と受診勧奨を図る。未受診者に対しては、関係機関との連携により、状況把握を図る。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	5,123	6,534	3,838	5,277
	県支出	5,123	6,534	3,838	5,277
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	32,379	86,831	36,618	59,839
合計(千円)		42,625	99,899	44,294	70,393

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状 況	評価	3. どちらともいえない
		説明	新型コロナウイルス感染症により、健診等中止または縮小して行った。感染症による外出制限により、母親の育児ストレスや孤立が心配された。子育て支援センターは、一時閉所した時期もあったが、感染対策をした上で再開した。これにより母親が安心して外出できる場となった。また家庭相談員が母親の多岐にわたる相談に対応した。
	課題	・新型コロナウイルス感染症による外出制限や身近に支援者がいない環境下で育児不安やストレスを抱え、適切な養育ができない家庭がみられる。 ・女性の社会進出が進む中、仕事と育児の両立に向けた環境の整備、支援の拡充が必要である。	
総合 評価	今後の 施策 展開	①健全な出産・育児ができる支援体制の整備 ②ICTを活用した相談システムの導入 ③子育てしながら社会で活躍できる支援体制の充実	
	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない	

【政策・施策名】

基本目標	3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策	1	安心して出産・子育てができる環境整備			
施策	2	子どもを守る体制づくり			
担当部署	主管課	こども未来課	責任者	主管課	鈴木 則子
	関係課			関係課	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				3,737
	県支出				3,261
	地方債				
	その他				
	一般財源	64,917	66,259	56,172	63,211
合計(千円)		64,917	66,259	56,172	70,209

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	予防接種は新型コロナウイルス感染症による影響を受けることなく、決められた時期に接種できている。 療育教室は健診にて児の発達状況を把握し、早期に療育につなげることができている。 虐待件数はR1、R2年度ともに、心理的虐待・ネグレクトが増加している。
		課題	・新型コロナウイルス感染症による外出制限や身近に支援者がいない環境下で育児不安やストレスを抱え、適切な養育ができない家庭がみられる。 ・生活困窮により、適切な生活が営めないことにより、不安を抱えながら学校生活を送る子どもがいる。
	今後の施策展開	○健全な養育ができる支援体制の整備 R3年度子ども家庭総合支援拠点を設置し、関係機関と連携し、虐待予防・虐待防止に向けた取り組みを強化する。	

施策の柱・目標	1. 命を守るための健康教育の充実と予防接種の推奨 2. 療育事業の充実と専門的人材育成の推進 3. 児童虐待防止対策の推進
---------	--

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度												
No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	予防接種の接種率	%	目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	A	90.0	116.9%
			実績	83.2	80.3	100.5	103.9	105.0	99.4			
2	療育教室の参加率	%	目標				93.0	94.0	95.0	B	100	98.5%
			実績	—		92.5	92.6	93.8	93.6			
3	虐待予防関係機関連絡会議(児童相談連絡会)	回/月	目標	1	1	1	1	1	1	A	1	100.0%
			実績	1	1	1	1	1	1			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
こども未来課	子育て支援係	3	児童虐待防止対策の充実	150	広報啓発活動	回/年	3	3	3	3	街頭広報については、新型コロナウイルス感染蔓延防止のため、中止とした。園児・児童の保護者に対し虐待防止のチラシを配布、窓口・健診会場で啓発物品の配布、市内小中学校・医療機関・商業施設へ虐待防止ポスターの配布を行い、虐待防止に向けた啓発ができた。	引き続き、虐待防止啓発物品等を配布し、虐待防止や地域への啓発の意識付けも含め、広報(啓発)活動を実施する。	現状維持
こども未来課	子育て支援係	3	児童虐待防止対策の充実	54	要保護児童等対策地域協議会開催回数	回/年	2	2	0	2	新型コロナウイルス感染蔓延防止のため、会議は中止となった。会議開催はなかったが、虐待リスクのある家庭に対しては個別にケース会議等を行い医師や児童相談所等の意見を得ることができた。	子ども家庭総合支援拠点の機能強化を図り、虐待予防・虐待防止のために、関係機関との連携をより密接に行っていく。	現状維持
こども未来課	母子保健係	1	予防接種事業の推進	56,150	定期予防接種の接種率	%	105	85	99.4	86	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、接種控えすることがないよう接種勧奨を図った。日本脳炎ワクチン製造会社2社のうち1社が一時的製造停止に伴い、供給が間に合わず接種できない方がいた。	引き続き、適正実施をするため医療機関への情報提供と市民への迅速な情報の周知を行う。適正な時期に予防接種を受けられるよう健診や相談にて接種勧奨を図る。	現状維持
こども未来課	成長支援係	2	支援事業(親子教室・集団療育事業の実施)	218	支援事業の実施	%	93.8	95.0	93.6	95.0	R2年度より0〜2歳児のみの集計。ほとんどが未就園児で年齢が小さいことから、保護者に療育の必要性を理解してもらうことが難しい。	引き続き、母子保健係と連携を密に行い、必要な支援に繋げていく。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標	3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策	2	心と体の健康づくり			
施策	1	自ら健康管理ができる環境づくり			
担当 部署	主管課	市民課	q	主管課	鈴木 優子
	関係課	健康づくり課		関係課	小田 隆弘

施策の柱・目標	1. 健診体制の整備 2. 地域社会の個人の健康を支え、守る環境づくり 3. 市民自ら主体的に取り組む健康づくり推進
---------	--

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出	8,360	8,357	8,349	8,360
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,996	15,364	10,850	15,443
合計(千円)		20,356	23,721	19,199	23,803

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない
		説明	受診勧奨ハガキの送付のほか、広報紙への掲載、ケーブルテレビ放送、音声告知放送、市民課電子掲示板等特定健診の周知を継続して行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが見られ、受診率は若干下がった。
	課題	特に若い世代の被保険者の受診率が低く、健診への意識が低いことが推測される。また、健康管理のため毎年受診が必要であるという認識も低い。	
今後の 施策展開	受診率向上のため、若い世代へ健康意識を高めること等をPRし、受診勧奨の取り組みを継続するとともに、SNSを活用した周知を図っていく。		
総合評価	2	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	健診、検診の受診率	%	目標		58.0	60.0	60.0	60.0	60.0	C	—	65.3%
	特定健康診査(御前崎市国民健康保険特定健診受診率)		実績	45.1	42.7	42.0	42.2	41.4	39.2			
2	がん検診	%	目標	健康づくり課が評価する。								
	受診率(市の実施するがん検診を受けた人／がん検診対象者)		実績									
3	健康教育の実施回数	回	目標									
			実績									
4	特定検診有所見者率	%	目標									
	血圧		実績									
5		%	目標									
	糖		実績									
6		%	目標									
	脂質		実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
市民課	国保年金係	1	特定健康診査等事業 (受診勧奨通知の送付)	19,199 (国保特別会計)	送付回数	回	0	0	0	0			
市民課	国保年金係	1	特定健康診査等事業 (受診勧奨ハガキの送付)		送付回数	回	1	1	1	1	受診勧奨ハガキの送付時期を11月へと早めて実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、受診行動に結びつかなかった。	勧奨対象者の検討を行い、継続して受診勧奨を実施することで、受診率向上を目指す。	改善・効率化
健康づくり課	健康増進係	2	がん検診推進事業(乳がんクーポン)		受診率	%		健康づくり課が評価する。					
健康づくり課	健康増進係	2	がん検診推進事業(子宮頸がんクーポン)		受診率	%							
健康づくり課	健康増進係	2 3	出前講座		回数	回							
健康づくり課	健康増進係	3	食育推進事業		回数	回							
健康づくり課	健康増進係	4 5 6	特定保健指導		実施率(初回)	%							
健康づくり課	健康増進係	4 5 6	訪問指導		回数	回							

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		2	心と体の健康づくり			
施策		1	自ら健康管理ができる環境づくり			
担当 部署	主管課	健康づくり課		責任者	主管課	小田 隆弘
	関係課	市民課			関係課	鈴木 優子

施策の柱・目標	1. 健診体制の整備 2. 地域社会の個人の健康を支え、守る環境づくり 3. 市民自ら主体的に取り組む健康づくりの推進
---------	---

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	652	300	678	300
	県支出	2,106	2,000	2,231	2,000
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,318	5,956	4,186	7,083
合計(千円)		8,076	8,256	7,095	9,383

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない
		説明	新型コロナウイルスの影響下で、健診(検診)の受診率や健康講座の開催数は、目標を達成することができなかった。
	課題	新型コロナウイルスの影響が長引く中であっても、確実に健診(検診)事業を実施し、受診率を低下させない工夫が必要である。 また健康講座等でも、開催するために、感染対策を十分に検討する必要がある。	
今後の施策展開		健診(検診)事業において、感染対策を実施した上で、必要性をアピールし、計画的に事業を実施する。 健康講座においても、感染対策を行うと同時に、開催方法(web会議等)の検討や、パンフレット等資料の提供を行うなど、啓発に努める。	
総合評価	2	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	健診、検診の受診率	%	目標	市民課が評価する。								
	特定健康診査(御前崎市国民健康保険特定健診受診率)		実績									
2	がん検診	%	目標		24.0	28.0	32.0	36.0	40.0	D	50.0	44.8%
	受診率(市の実施するがん検診を受けた人／がん検診対象者)		実績	22	20.9	20.8	19.4	18.6	17.9			
3	健康教育の実施回数	回	目標		80	80	80	80	80	D	85	41.3%
			実績	74	75	97	125	140	33			
4	特定健診有所見者率	%	目標		24.3	24.0	23.8	23.5	23.2	B	22.0	95.1%
	血圧		実績	24.5	26.4	24.5	21.6	20.7	24.4			
5		%	目標		8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	C	7.9	66.9%
	糖		実績	8.8	9.5	10.6	10.3	11.0	12.4			
6		%	目標		29.5	29.2	28.9	28.6	28.3	B	26.8	85.2%
	脂質		実績	29.8	26.6	31.7	31.4	31.4	33.2			

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
健康づくり課	健康増進係	2	乳がん検診(40歳以上)	4,931	受診率	%	23	40	23	40	感染拡大の影響により事業の延期等があった。そのため受診率が伸びず目標を達成することができなかった。	感染症予防対策を確実に実施した上で事業実施を行う。また、健診が必要な方が確実に受診をできるような体制を整えていく。	改善・効率化
健康づくり課	健康増進係	2 3	出前講座	84	回数	回	90	45	20	80	感染症拡大により、講座の開催に制約がかかる中で依頼件数も減少し、目標を達成することができなかった。	対面での講座以外にも、資料の提供やWEB形式で実施するなど、様々な方法を駆使し健康教育の推進を進めたい。 また、市内企業への健康講座の周知を関係各所と連携し、強化していきたい。	改善・効率化
健康づくり課	健康増進係	3	食育推進事業	73	回数	回	50	35	30	30	目標の達成には至らなかった。新型コロナウイルス感染拡大および予防のため、予定されていた食育の機会が減ったことが影響している。特に高齢者や幼稚園児へのクッキング支援が減少し、回数の減少につながった。	感染対策を徹底したクッキングの実施や、講話のみの実施等、方法を検討する。事業については養護教諭連絡会や各園への周知を継続、また、高齢者へ低栄養予防を教育するため、高齢者支援課と協力していく。	現状維持
健康づくり課	健康増進係	4 5 6	特定保健指導	2,530	実施率(初回)	%	49	49	52	52	目標を達成できた。結果票に案内通知を同封し、早期に働きかけたことが実施率向上の要因として考えられる。	引き続き、結果票に案内通知を同封し、実施率向上を目指す。	現状維持
健康づくり課	健康増進係	4 5 6	訪問指導	0	回数	回	409	400	402	400	目標を達成できた。従事者数減少に伴い、重症化予防事業において対象者を絞ったが、特定保健指導等の対象者数増加により、実施回数は例年並みとなった。	市の現状を踏まえ、高血圧予防に注力し、訪問指導を実施する。	現状維持
市民課	国保年金係	1	特定健康診査等事業 (受診勧奨通知の送付)		回数	回		市民課が評価する。					
市民課	国保年金係	1	特定健康診査等事業 (受診勧奨ハガキの送付)		回数	回							

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		3	地域が一体となった介護体制の整備			
施策		1	住み慣れた地域で自立した生活ができる環境づくり			
担当 部署	主管課	高齢者支援課		責任者	主管課	五島 正広
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 支え合いの地域づくりの推進 2. 地域を支える体制づくりの整備 3. 介護保険の健全かつ適正な運営の推進
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段: 指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	支え合い地域づくり組織数	組織	目標		0	1	3	5	7	A	8	100.0%
			実績	0	1	3	6	7	7			
2	受給者1人当たりの介護費県内順位	位	目標		34	34	32	31	30	B	25	90.9%
			実績	35	35	35	34	32	33			
3	要介護(要支援)認定者の平均年齢	歳	目標		84.8	85.0	85.2	85.4	85.6	B	86.6	98.4%
			実績	84.6	84.7	84.9	85.1	84.6	84.2			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
高齢者支援課	高齢者福祉係	1	生活支援体制整備事業	3,390	地区協議体数	組織	7	7	7	7	それぞれの地域で主体的に取り組みを始めているが、行政支援の在り方が共通認識されていないため、行政に対する期待が大きい。市内の社会資源マップを作成するため、書式や作成方法について協議した。社会資源マップを通して既存の社会資源を市民に「見える化」する。	地域への支援・協力の在り方の理解を促すとともに、地域が主体的に取り組めるように支援する。社会資源を把握し有効利用するとともに、課題解決に必要な資源を検討する。生活支援コーディネーターと連携体制を密にして情報収集をする。	改善・効率化
高齢者支援課	介護保険係 包括支援係	2	介護給付費用適正化事業 介護予防ケアマネジメント事業	197	受給者1人当たりの介護費県内順位	位	32	30	33	30	給付率が高い利用者を中心に自立度とサービス内容を確認し、多種職を交えたケアプラン会議を行った。利用者の状態に合ったサービス提供となっているか評価し、介護支援専門員に助言等を行い気づきを促すことで、介護給付費の抑制に繋がった。	居宅サービスの費用額が高いため、サービス利用状況等を分析し、事業者への指導を継続して実施していくことで、適正なサービス利用に繋げ、給付費の抑制に努める。	改善・効率化
高齢者支援課	高齢者福祉係 包括支援係 介護認定係	3	介護予防・生活支援サービス事業 一般介護予防事業	46,668	要介護(要支援)認定者の平均年齢	歳	84.6	85.6	84.2	85.0	総合事業対象者を把握し、適正な介護予防サービスへ繋げた。早期の介護予防に繋げるため、高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施に向け計画をし、予防を必要とする潜在的な人を見つける必要がある。	高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施に向けて、若い世代の介護予防に努め、新規認定年齢を遅らせる支援をする。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出	17,832	15,801	12,323	16,357
	県支出	6,318	7,900	6,682	8,179
	地方債	0	0	0	0
	その他	18,671	27,189	19,623	23,501
	一般財源	5,335	9,354	11,657	14,429
合計(千円)		48,156	60,244	50,285	62,466

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない
		説明	受給者1人当たりの介護費県内順位と要介護(要支援)認定者の平均年齢が達成されていない。
	課題	要介護(要支援)認定の平均年齢が下がりはじめてきている。自立した生活ができる環境に逆行しているため、現状分析をさらにする必要がある。又、目標値も毎年0.2歳ずつあげていくには厳しい面もある。	
今後の施策展開		新規の介護保険の認定年齢を遅らせることが重要だと思う。このため介護予防に対して、更に重点をおいた施策をとっていくようにしたい。	
総合評価	2		【施策の進捗状況・評価】
			5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		4	だれもが社会参加できる環境整備			
施策		1	だれでも安心して過ごすことのできる生活環境整備			
担当 部署	主管課	福祉課		責任者	主管課	丸尾 茂広
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 障がいのある人、ない人が共に参加できる機会の拡充 2. 障がいのある人への雇用の促進支援 3. その人に合った福祉サービスの確保 4. 権利擁護の推進
---------	---

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	320,058	323,138	0	－
	県支出	194,466	197,870	33	－
	地方債	0	0	0	－
	その他	672	672	0	－
	一般財源	275,564	269,266	109	－
合計(千円)		1,581,706	790,946	142	0

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらもいえない
		説明	新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず中止した事業もあり、目標を下回った成果指標があった。啓発事業に関しては、各週間を利用し事業展開することができた。
		課題	障害者差別解消法の成立を機に、障害者への理解・啓発の促進に努めているが、まだ市民の理解が進んでいない面がある。
	今後の施策展開	課題解決に向け、更に広報等啓発に取り組み、合理的配慮等について企業側(雇用者側)に対する啓発を推進していく。また、東遠地域自立支援協議会等において、障害者を取り巻く環境の改善について話し合い、障害者に見合ったサービスが提供できるよう検討・協議していく。	
総合評価	2	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度												
No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	人材育成、支援ネットワーク事業	件	目標		3	3	4	5	6	C	10	66.7%
			実績	3	2	3	3	5	4			
2	就労支援関係機関との連携	回	目標		2	2	3	3	4	C	8	50.0%
			実績	2	2	2	2	2	2			
3	研修会・講演会の開催回数	回	目標		3	3	3	3	4	A	6	100.0%
			実績	2	3	3	3	8	4			
4	啓発広報事業件数	件	目標		1	1	1	1	2	A	3	100.0%
			実績	1	1	1	1	2	2			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
福祉課	障がい支援係	1	手話奉仕員養成講座	0	講座終了者数	人	3	0	0		講座開催に向けての準備は進めていたが、新型コロナウイルスの影響で、やむを得ず全ての講座を中止とした。		後期総合計画に変更
福祉課	障がい支援係	2	障害者就業・生活支援センター連絡会	0	開催回数	回	2	3	2		新型コロナウイルスの影響で書面開催となった。障害者就労の現状・生活支援センターにおける就労支援事業の実績や支援内容について、関係機関との共有・連携を図った。		後期総合計画に変更
福祉課	障がい支援係	3	研修会や講演会の開催	0	参加人数	人	619	300	73		新型コロナウイルスの影響で、こころの講演会及び家族教室は、やむを得ず開催を取り止めた。ゲートキーパー養成講座については、ボランティア登録者、民生委員、市役所新規採用職員を対象に開催し、自殺を取り巻く現状やゲートキーパーの役割について理解を深めた。		後期総合計画に変更
福祉課	障がい支援係	4	啓発広報事業	142	件数	件	2	2	2		障害者週間及び自殺予防週間を利用し、啓発品の配布による普及・啓発を図った。また、障害者差別解消法の周知を図るため、手話言語条例パンフレットの配布や、市役所全職員に対するeラーニング研修の受講を通じて、合理的配慮等への啓発を図った。		後期総合計画に変更

【政策・施策名】

基本目標	3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策	4	だれもが社会参加できる環境整備			
施策	2	生活困窮からの脱却へ向けた体制づくり			
担当部署	主管課 関係課	福祉課	責任者	主管課 関係課	丸尾 茂広

施策の柱・目標	1. 早期に把握するためのネットワークの整備 2. 相談窓口の充実 3. 就労支援の充実
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	関係機関との調整会議	回/年	目標		12	12	13	14	15	A	18	126.7%
			実績	12	14	14	12	12	19			
2	相談員の設置人数	人	目標		3	3	3	3	4	B	4	75.0%
			実績	3	4	4	3	3	3			
3	就労支援員の設置人数	人	目標		2	2	2	2	2	C	2	50.0%
			実績	2	2	2	1	1	1			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
福祉課	保護係	1	支援調整会議等 (民生・児童委員や保護司などの活動支援も含む)	8,639	相談対応率	%	100	100	100		各組織との円滑な連携の下、支援を行えるようになってきているが、本人が支援を希望しないため、相談のみとなっているケースも多くある。		後期総合計画に変更
福祉課	保護係	2	相談支援活動施策	2,049	スキルアップ研修へ参加数	回	2	2	1		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修等もあり、十分なスキルアップを図ることができたとは言えないが、相談件数の大幅な増加により、実務経験が増えたことで、相談支援のスキルは大幅にアップしたと考える。		後期総合計画に変更
福祉課	保護係	3	就労支援活動施策	2,210	支援対応率	%	100	100	100		就労支援が必要な方の中には、高齢者や病気(障害)等の理由により、普通就労が困難な方も増えている。特に障害認定を受けていない方への就労支援が課題となっている。		後期総合計画に変更

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	2,965	3,182	3,051	－
	県支出	4,706	4,706	4,706	－
	地方債	0	0	0	－
	その他	0	0	0	－
	一般財源	9,343	8,129	5,141	－
合計(千円)		17,014	16,017	12,898	0

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	相談員及び就労支援員の人数については、平成30年度に減員し、それ以降は同数を維持している。新たな関係機関との連携強化や相談員の習熟等により困難ケースにも対応している。また、調整会議については、月1回の定例会議に加え、必要に応じ個々のケース毎に実施していることから、概ね達成と評価した。
	課題		長期間の不就労により就労意欲が低下している方や障害等により直ちに一般就労に就くことが困難な方を就労に結び付けるためには、各関係機関と十分な連携を図り、時間を掛けた支援が必要である。また、新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、就労先の確保をすることが困難な状況が継続すると予想される。
総合評価	今後の施策展開		複合的な問題を抱え生活困窮に陥っている世帯に対し、重層的の支援を実施するために部局を越えた連携や各種支援団体との連携を更に強化することで、支援のネットワーク化を図って行く。また、早期に生活困窮者を把握するため、民生委員をはじめとする各種団体や関係機関との情報共有・連携強化を図っていく。
	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		5	信頼される医療体制の確立			
施策		1	広域での診療体制づくり			
担当 部署	主管課	病院医事企画課		責任者	主管課	阿形 明
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 広域での医療機関との連携維持強化 2. 地域連携ネットワークシステム(ふじのくにねっと)利用の促進
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	紹介率	%	目標		30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	B	35.0	82.6%
	他院から当院へ紹介状を持って受診した患者の割合		実績	33.6	26.8	24.2	24.6	24.4	28.1			
2	逆紹介率	%	目標		31.0	31.5	32.0	32.5	33.0	C	34.2	73.3%
	当院から他院へ紹介した患者の割合		実績	32.1	31.6	21.6	23.4	22.9	24.2			
3	開示件数	件	目標		165	170	175	180	185	A	195	196.8%
	ふじのくにねっとによる速やかな転院ができた件数		実績	159	284	344	464	416	364			
4	参照件数	件	目標		214	218	222	226	230	A	250	104.3%
	ふじのくにねっとによる速やかな転院ができた件数		実績	210	224	136	140	228	240			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
病院医事企画課	地域連携室	1	地域連携だよりの発行	115	広報活動	回/年	4	4	4	4	4回発行済。課題としては掲載内容が、興味をもっていただけの内容となっているか	病院機能や医師の専門分野、当院の実績等、開業医が患者を紹介する上で、参考となる情報を掲載していく。	現状維持
病院医事企画課	地域連携室	1	外来担当表および医師異動連絡票送付 医師会への紹介率報告	32	連絡票送付	回/年	12	12	12	12	12回報告済。	今後も連携機関への紹介の際は、開示処理をスムーズに行えるよう継続する。	現状維持
病院医事企画課	地域連携室	3.4	ふじのくにねっと加入のご案内 (登録申込患者数)	14	申請件数(人数)	人	1,013	1,000	420	-	4月～7月末までの実績の月平均としては目標達成。8月より運用変更があり、申込書の記入が不要となったため、指標の集計不可。	紹介・受入れ時のふじのくにねっと利用の口頭同意確認は引き続き行うが、申込書の作成は不要なため、作業終了	終了

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
合計(千円)		0	0	0	0

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	御前崎市市内には、専門の開業医が少ないため、初診の患者も受診しやすい体制をとっていることが、紹介率が上がらない要因のひとつでもある。ただ、令和2年4月より整形外科が入院・手術の受け入れが可能となったため紹介率が前年比で増加となった。
		課題	病院と診療所の機能分担が浸透していない地域環境もあり、かかりつけ医機能の更なる推進が課題である。
今後の 施策展開	病院機能の充実を図り、当院で可能な治療を積極的に情報発信することによって、病診連携の更なる強化を推進していく。		
総合 評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標	3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち
政策	5	信頼される医療体制の確立
施策	2	地域医療の確保と連携強化による医療体制づくり
担当部署	主管課 関係課	健康づくり課 責任者 主管課 関係課 小田 隆弘

施策の柱・目標	1. 診療所等開設資金支援事業補助金制度による医療機関の確保、および家庭医療センター開設による医療サービス環境の整備 2. 市立御前崎総合病院と地域の診療所および行政の連携強化
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	1診療所当たりの人口	人	目標		3,160	3,160	3,160	3,160	3,000	A	2,800	100.0%
			実績	3,780	2,769	2,750	3,254	2,915	2,866			
2	総合病院・地域診療所および行政との連携会議の開催	回/年	目標		2	2	2	2	2	A	2	100.0%
			実績	—	1	4	6	10	5			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
健康づくり課	地域医療係	1	医療機器等整備支援	11,181	医療機器導入	件	2	1	1	1	1件の市内開業医に対し、補助金の交付を行い、地域の医療体制の維持に貢献した。当市に初めて耳鼻咽喉科が開院した。	事前の情報収集を密にして、スムーズな補助金交付を行い地域の医療体制を維持する。	現状維持
健康づくり課	地域医療係	2	地域医療連携	—	小笠医師会・榛原医師会・御前崎市意見交換会	回	4	4	5	4	各種委員会を開催し、目標を達成することができた。病院中長期計画については、次年度以降、国からの策定指示が示されていない。	中長期計画について、国からの策定指示があるまでの間は現計画をもとに暫定的な計画を実施する。	改善・効率化
健康づくり課	地域医療係	2	災害時救護	—	救護所運営部会	回	4	4	1	2	御前崎地区救護所がしろわクリニックに変更されたため運用マニュアルを作成したが、コロナ禍により実施検証が行えていない。医療資機材の入替を実施し災害時の体制を整えた。	関係者との連携を深め、より良い救護所運営に向けて、今後も引き続き開催する。白羽救護所のマニュアルの検証を実施し再検討を図る。	改善・効率化
健康づくり課	地域医療係	2	御前崎市地域医療を育む会補助	150	病院または市との協力事業	回	6	6	3	3	コロナ禍により制限がかかり積極的な活動が行えなかった。	育む会の活動を周知し、活動の輪を広げるため、情報発信について育む会と協力して取り組む。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,331	150	26,638	150
合計(千円)		11,481	150	26,638	150

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	令和2年度は1診療所が開院となったが、1診療所が新たに開設されたことにより、診療所当たりの人口は達成された。 地域の診療所や団体と会議等を行うことで、行政との連携強化に取り組むことができた。
	課題		新たな診療科の開院や開業医医師の高齢化等、中期的な観点で地域医療体制の確保が必要となってくる。
今後の施策展開			安定した地域医療体制を確保するため、診療所等開設資金支援事業を活用していく。また市立病院や診療所との連携を継続して実施していく。
総合評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		5	信頼される医療体制の確立			
施策		3	子どもからお年寄りまで安心できる病院体制			
担当 部署	主管課	病院管理課		責任者	主管課	原崎 浩之
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 健全な病院経営 2. 医師・看護師・介護福祉士確保のための奨学金制度の充実 3. 実習生を受け入れできる環境づくり
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	経常収支比率	%	目標		96.2	96.2	96.2	96.2	96.2	A	96.2	101.4%
	費用に対する収益の割合を確認し、経営状態確認の指標とする		実績	92.2	98.3	100.8	101.0	97.1	97.5			
2	施設・機器整備率	%	目標		10	20	30	40	50	A	100	100.0%
	総合計画実施計画書に基づく計画的な設備・機器更新		実績	—	10	20	30	40	50			
3	医師 奨学金貸与件数(新規)	件	目標		1	1	1	1	2	C	2	50.0%
	将来当院で働いてもらう事を前提に、奨学金を支給する		実績	1	1	0	0	0	1			
4	看護師 奨学金貸与件数(新規)	件	目標		4	4	4	4	4	B	4	75.0%
	将来当院で働いてもらう事を前提に、奨学金を支給する		実績	8	5	7	7	3	3			
5	介護福祉士 奨学金貸与件数(新規)	件	目標		2	2	2	2	2	D	2	0.0%
	将来当院で働いてもらう事を前提に、奨学金を支給する		実績	3	1	0	1	1	0			
6	職員宿舍整備率	%	目標		47.8	47.8	50.0	50.0	50.0	A	100.0	151.8%
	遠方出身の医師・看護師の受入をするため、職員宿舍の整備を行う		実績	14.3	47.8	56.7	66.6	72.4	75.9			

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
病院管理課	経理係	1	御前崎市病院事業	5,178,180	経常収支比率	%	97.1	96.2	97.5	96.2	目標は達成したものの、給与費の増加が目立つ。また、新型コロナウイルスの影響が今後どのように推移していくか注視していく必要がある。	引き続き現状把握に努めるとともに、費用の削減策を講じ健全経営を目指す。	現状維持
病院管理課	管理係	2	病院施設管理業務	808,140	施設機械整備率	%	40	50	50	60	機器・設備の状況に応じて計画的に更新を実施している。	計画をベースに必要な機器・設備の更新を継続する。	現状維持
病院管理課	総務係	3	奨学金貸与業務	7,000	医師奨学金	件	0	0	1	0	平成30年度から新専門医制度が始まり、大学卒業後に5～8年の他院での研修が必要となること、本人の専攻希望と当院の募集診療科がマッチしない等の問題がある。	左記の理由により、一時奨学金貸与者の募集を中止していたが、家庭医に関しては、医学生が研修に来ており、専攻希望も明確なため、募集を継続する。	その他
病院管理課	総務係	4	奨学金貸与業務	10,200	看護師奨学金	件	3	4	3	4	新規貸与者数は目標4名を下回る3名ではあったが、看護師確保に有効な手段となっている。	看護師は入れ替わりの激しい職種であり、引き続き貸与者の募集を行う。	現状維持
病院管理課	総務係	5	奨学金貸与業務	1,200	介護福祉士奨学金	件	1	2	0	2	目標2名に対し、新規貸与者0名であり、応募等がない状況が続いている。	介護職の人手不足が続いており、介護員確保に向けた奨学金制度の更なる活用を図る。	現状維持
病院管理課	管理係	6	病院施設管理業務	12,460	職員宿舍整備率	%	72	76	76	76	看護部等の意向を確認するとともに、入居状況に応じて、整備を進める必要がある。	看護部等の要望及び施設の現状を確認し、整備計画を検討していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出				2,000
	県支出	374,267	3,200	3,901	100
	地方債		376,500	20,700	357,500
	その他				
	一般財源	170,028	242,760	189,181	263,930
合計(千円)		544,295	622,460	213,782	623,530

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	経常収支比率、施設・機器及び職員宿舍整備率は、目標を達成している。職員確保のための奨学金制度も、看護師、介護福祉士については、目標を若干下回ったものの職員確保に一定の効果がみられる。
	課題		医師奨学金については、大学卒業後の研修期間や本人の専攻希望と当院の募集診療科がマッチしない等の問題がある。
今後の施策展開			引き続き、医師確保や経費削減に努め、収支改善を図るとともに、計画的な施設・機器等の整備を行う。 また、医師奨学金については、上記の問題もあるが、医師就業支度金や医師紹介奨励金の活用等により医師確保を図る。
総合評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		3	すべての人が健康で安心して暮らせる支え合うまち			
政策		6	生涯スポーツの推進			
施策		1	生涯を通じた体づくり			
担当 部署	主管課	社会教育課		責任者	主管課	小野田 明人
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 幼児期からの体幹づくり 2. 運動を楽しく継続できる環境づくり
---------	---------------------------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	幼児を対象としたスポーツ教室の開催	回/年	目標		3	3	3	3	3	A	5	533.3%
			実績	0	10	10	8	13	16			
2	軽スポーツを取り入れた教室・大会への参加者数	人/年	目標		280	280	280	280	280	B	300	95.4%
			実績	258	338	340	380	397	267			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
社会教育課	スポーツ振興係	1	御前崎市振興公社開催の幼児を対象としたスポーツ教室に対する助成金交付	600	助成金交付団体	団体	1	1	0	1	助成金交付を必要とせず、収入(参加料)により事業費をまかなうことができた。	参加者数の更なる確保とともに、必要経費の効率化を図っていく。	現状維持
社会教育課	スポーツ振興係	2	軽スポーツ教室の企画・運営(スポーツ推進委員と連携)	750	教室開催数	回	3	3	3	3	新型コロナの影響により、対策を講じながら開催したが全体的に参加者数が減少となった。また、参加者が固定化傾向にあるため、新規参加者の増加が望まれる。	新規参加者の獲得に向けて、他の軽スポーツ教室を検討していく。	改善・効率化
社会教育課	スポーツ振興係	2	軽スポーツ大会の企画・運営(スポーツ推進委員と連携)	384	大会開催数	回	3	3	3	3	新型コロナの影響がありながらも多くの方の参加があった。概ね好評であるため、新たにスポーツに触れていく人の獲得に向けて続けていきたい。	大会を通じて多くの方にスポーツに触れあってもらい、引き続き運動する習慣を身につけてもらえるよう促していきたい。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,646	1,735	769	1,624
合計(千円)		3,381	1,735	769	1,624

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	初心者でも気軽に参加しやすい状況をつくり、多彩な種目によるスポーツ教室・大会を開催することで、多くの方が興味をもち参加できており、目標が達成できている。
	課題	リピーターが多く、参加者の固定化が進んでいるため、新たな参加者獲得が求められている。	
	今後の施策展開	事業内容の改善、新たな種目を取り入れるなど、身近にスポーツを感じてもらうことで新規参加者を増加させていく。また、HPやCATVを活用しながら様々な人に対し情報発信ができるよう、広報活動にも努めていく。	
総合評価	5		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

令和2年度 静岡県御前崎市施策評価シート

施策コード

P4-1-1

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		1	豊かな自然を生かした観光の推進			
施策		1	海の特徴を生かした観光の推進			
担当 部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課	樽林 昭彦
	関係課				関係課	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出		3,937		1,782
	県支出	34,700	15,700	15,660	15,742
	地方債				
	その他	50,533	3,440	3,743	5,922
	一般財源	109,207	117,624	89,167	108,829
	合計(千円)	335,141	140,701	108,570	132,275

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントが中止となったため、観光交流客数が伸び悩んでいる。
		課題	新型コロナウイルス感染症の対策をどうPRしていくか検討が必要である。
	今後の施策展開	ワクチン接種の動向をみながら、開催できるイベント等事業の対応をしていく。	

総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】
		5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標を達成していない

施策の柱・目標	1. 地域間で連携した体験型観光のメニュー化 2. 御前崎の海の魅力を啓発強化 3. 灯台およびマリナーパーク御前崎を中心とした観光施設の整備
---------	---

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	観光交流客数	人	目標		2,097,600	2,123,200	2,148,800	2,174,400	2,200,000	C	2,350,000	65.3%
			実績	2,072,000	2,561,661	2,650,499	2,512,116	2,289,728	1,437,268			
2	灯台来場者数	人	目標		35,080	35,560	36,040	36,520	37,000	C	39,500	47.1%
			実績	34,600	25,188	27,258	25,223	22,586	17,427			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

[illegible]

令和2年度 静岡県御前崎市施策評価シート

施策コード P4-1-2

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		1	豊かな自然を生かした観光の推進			
施策		2	日本の原風景を味わえるスローライフの提案			
担当 部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課	樽林 昭彦
	関係課				関係課	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出		3,937		1,782
	県支出	34,000	15,000	15,000	1,400
	地方債				
	その他	50,277	3,278	274	5,760
	一般財源	81,853	94,729	69,385	80,586
合計(千円)		283,074	116,944	84,659	89,528

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光交流客数が著しく減少している。
		課題	新型コロナウイルス感染症の対策をどうPRしていくか検討が必要である。
	今後の施策展開	浜岡砂丘の景観美をうまく活用・PRし、カワズザクラを見に来る来訪者の増加を図っていく。	

総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】
		5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標に達していない

	1. 自然を生かした散策道の提供 2. 歴史・文化遺産等の資源の活用
--	---------------------------------------

施策の柱・目標	
---------	--

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	観光交流客数	人	目標		2,097,600	2,123,200	2,148,800	2,174,400	2,200,000	C	2,350,000	65.3%
			実績	2,072,000	2,581,661	2,650,499	2,512,116	2,289,728	1,437,268			
2	里山地区観光客数	人	目標		484,600	491,200	497,800	504,400	511,000	C	544,000	56.4%
			実績	478,000	465,161	481,394	484,586	425,816	288,400			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

[illegible]

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		2	特色を生かした農水産業の振興			
施策		1	未来を担う人・組織づくり			
担当 部署	主管課	農林水産課		責任者	主管課	沖 寿弘
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 未来の農業者・漁業者の育成と確保 2. 農水産物のブランド化の支援 3. 農業振興拠点施設を活用した農業者の支援
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	新規就農・就業者数	人	目標		16	17	18	19	20	A	25	115.0%
	がんばる新農業人支援事業による新規就農者の累計		実績	15	16	17	20	22	23			
2	「御前崎うまいみさき」ホームページのアクセス数	件	目標		30,000	60,000	90,000	120,000	150,000	C	300,000	50.9%
	市内の農畜水産物を掲載したHPへのアクセス数		実績	—	11,513件 (累計:11,513件)	12,852件 (累計:24,365件)	12,206件 (累計:36,571件)	17,787件 (累計:54,358件)	22,136件 (累計:76,494件)			
3	農業振興拠点施設交流人口	万人/年	目標		47	48	49	49	50	B	50	78.0%
	直売所レジ通過者×2.3		実績	47	43	43.8	41.3	39.5	39			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出	6,000	10,500	7,500	12,000
	地方債				
	その他				
	一般財源	21,697	16,340	16,179	16,537
合計(千円)		27,697	26,840	23,679	28,537

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	新規就農者数は達成している。「おいしい図鑑」HPを「御前崎うまいみさき」にリニューアルした結果、アクセス数が増加した。道の駅の直販所レジ通過者については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、4月27日～5月6日の間施設全体を全面封鎖した影響により減少した。しかし、その後のレジ通過者は回復している。
		課題	道の駅については、新たに関連施設などの活用方法を引き続き模索する。
今後の施策展開		「御前崎うまいみさき」HPについては、新しい情報を更新していく。道の駅については、農産物加工施設の活用方法を検討する。	
総合評価		4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
農林水産課	農地係	1	新規就農者の育成・確保	7,500	農業次世代人材投資資金による支援	人	22	20	23	21	毎年、順調に新規就農者を確保できているが、市内の研修受け入れ農家が1件で、指導者が高齢化している。	農協や農林事務所、農業委員会など協力し、意見を聞きながら研修受け入れ農家の増加を目指す。	改善・効率化
農林水産課	特産振興係	2	特産作物の振興	879	都市圏でのPR回数	回	2	2	0	1	都市圏の高速道路SAにて、御前崎市の特産品のおいしさや品質の良さを広く周知するとともに、市の知名度向上を目的に計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。	R3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画どおりに実施できない可能性があるため、実施できない場合は、代替事業を検討する。	改善・効率化
農林水産課	農地係	3	農業振興拠点施設の活用	15,300	農業振興拠点施設運営協議会の開催	回	2	2	2	2	農業振興拠点施設は、農産物直売所を中心に地域の農業拠点として定着している。展示温室、農産物加工施設の利用を拡大していきたい。	加工施設の利用方法について、指定管理者と協議し、実現に向けて調整していく。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標	4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策	2	特色を生かした農水産業の振興			
施策	2	持続可能な農業生産基盤づくり			
担当部署	主管課	農林水産課		責任者	主管課
	関係課				関係課
		沖 寿弘			

施策の柱・目標	1. 農地の利用集積と大区画化の推進 2. 老朽化した土地改良施設の更新 3. 市民協働で農地を守る体制づくりの推進 4. 茶園の生産基盤強化と支援
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	認定農業者1人当たりの耕作面積	ha	目標		3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	A	4.0	100.0%
	市内在住認定農業者の耕作面積÷市内の認定農業者数		実績	3.0	3.1	3.3	3.5	3.3	3.5			
2	老朽化した農業用水パイプラインの再整備(受益地面積)	ha	目標		—	—	—	30	60	D	130	0.0%
	基盤整備事業の受益地面積		実績	—	—	—	—	0	0			
3	地域で守る農地面積	ha	目標		110	120	130	140	150	C	200	68.7%
	多面的機能支払い交付金活動組織の活動面積の合計		実績	101	112	103	103	103	103			
4	茶農家一戸当たりの茶栽培面積	a	目標		90	95	100	105	110	A	120	106.4%
	市内茶栽培面積÷茶農家数(農林業センサス)		実績	86	116	116	116	116	117			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
農林水産課	農地係	1	担い手の育成・確保	27	「人・農地プラン」検討会の開催	回	2	2	1	1	市内全地区の人・農地プランを作成し、検討会で決定し市のHPで公表した。	実質化された人・農地プランについて、将来方針を実現できるように行動していく。	現状維持
農林水産課	農村整備係	2	県単農業農村整備調査事業	2,250	整備地区の調査	地区	1	2	2	2	パイプランを管理する土地改良区と連携し、老朽化した石綿管の布設替えを実施する必要がある。	土地改良区及び用水組合と調整し、国・県事業を活用した整備を実施する。(池新田地区・高松地区)	現状維持
農林水産課	農村整備係	3	農業用の用排水施設及び圃場の整備	3,408	活動組織数	組織	3	3	3	3	活動組織及び耕作者の高齢化により、事業継続が難しくなっている。	新規活動組織を増やすようPRをしていく。	現状維持
農林水産課	特産振興係	4	新銘茶の推進	3,200	つゆひかり定植本数	本	6,304	6,500	8,304	8,500	御前崎つゆひかりは、消費者から高い評価があり、御前崎茶ブランドとして定着しつつある。高齢化や担い手不足により、小規模な茶農家が廃業することによる茶園の耕作放棄が懸念される。	茶園の耕作放棄地の防止対策について、茶園の集積をJAや茶工場、生産者、地権者と連携し、推進していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出	1,799	1,799	20	20
	県支出	900	900	2,556	4,073
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,930	6,499	6,309	7,437
合計(千円)		9,629	9,198	8,885	11,530

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	認定農業者の規模拡大については、国の交付金を活用し、達成できた。
	課題		農業者の高齢化や担い手不足が進んでおり、新規就農者などの育成が必要である。
今後の施策展開			農業用水パイプの再整備については、県営事業として池新田地区・高松地区の石綿管敷設工事を進めていく(R3年度測量設計)。人・農地プランを継続して進め、担い手への農地集積や基盤整備事業を推進する。
総合評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		2	特色を生かした農水産業の振興			
施策		3	つくり育てる漁業の推進			
担当 部署	主管課	農林水産課		責任者	主管課	沖 寿弘
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 栽培漁業と沿岸域の漁場整備の支援 2. 水産物のブランド化の推進 3. 卸売市場の活性化
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段: 指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	稚魚放流の種類数	種	目標		3	3	3	4	4	B	5	75.0%
	御前崎漁港にて放流している稚魚の種類数		実績	3	3	4	4	3	3			
2	ブランド認定件数	件 (延べ)	目標		2	2	2	3	3	A	4	133.3%
	しずおか食セレクションに認定登録されている商品数		実績	2	2	2	2	2	4			
3	御前崎魚市場の水揚げ高	億円	目標		13.8	13.8	13.9	13.9	14	A	15	104.3%
	御前崎魚市場における水揚げ高(1月から12月)		実績	13.8	17.1	15.5	16.2	14.5	14.6			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	22,558	28,564	8,331	22,799
合計(千円)		22,558	28,564	8,331	22,799

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	ブランド認定件数及び御前崎魚市場の水揚げ高は、目標値を上回る結果となった。
		課題	ブランド認定商品登録件数の増加を推進していく。水揚げ高については、年度によってばらつきがあるが、水産資源を安定的に確保する必要がある。とくに、生カツオなど外来船の誘致や支援が必要である。
	今後の施策展開	引き続き、水産資源を確保するために稚魚の放流を進め、ブランドである生カツオの水揚げをしている外来船の誘致や支援に努め、水揚げ高を維持していく。	
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
農林水産課	特産振興係	1	放流事業の推進	1,728	放流回数	回	4	4	3	4	ヒラメやマダイ、クエを放流したが、市内小学生を対象とした放流体験は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。	御前崎漁港管内での生息可能な稚魚を放流し、水産資源の維持、増加により、漁業経営の安定化を図っていく。	現状維持
農林水産課	特産振興係	2	みなとかつお祭りへ支援	0	入込人数	人	17,000	18,000	0	0	御前崎港に水揚げされる新鮮な魚介類を来場者にPRすることにより、かつおやシラス等の魅力を広く周知するため予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかった。	御前崎港に水揚げされる水産物の魅力を広く周知していく。	現状維持
農林水産課	特産振興係	3	外来船水揚誘致事業の実施	6,603	誘致延べ船数	隻	365	350	394	400	外来水揚船誘致事業の実施及び近海かつお船水揚促進支援事業の予算規模の拡大により、三重県や和歌山県、高知県、宮崎県からの水揚げがあり、昨年度より入港回数が増加した。	外来水揚船誘致事業の実施とともに、近海かつお船水揚促進事業の継続により、水揚船の入港及び水揚げ量の増加を図る。	現状維持

【政策・施策名】

基本目標	4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策	3	活気ある商工業の振興			
施策	1	創業・起業支援			
担当部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課
	関係課			関係課	榎林 昭彦

施策の柱・目標	1. 創業・起業支援体制づくり 2. 創業・起業チャンスの提供
---------	------------------------------------

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	創業・起業相談者数	件	目標		13	27	40	54	68	B	80	75.0%
	年間に創業支援機関への相談者・創業セミナー参加者を合わせた目標件数。		実績	5	16	31	37	51	51			
2	創業・起業件数	件	目標		3	6	9	12	16	A	20	143.8%
	年間に創業・起業実現の目標件数。		実績	0	3	15	16	17	23			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	98	100	0	100
合計(千円)		98	100	0	100

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	創業・企業相談者を対象に関係機関と協力しセミナーを開催。
	今後の施策展開	課題	起業したい方の情報がない。
今年度は開催できなかったが、企業セミナーを継続するとともに、新たな制度を制定し創業の支援、雇用の創出に取り組んでいく。			
総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
商工観光課	商工係	2	創業相談窓口の開設	118	創業した起業者の数 (市+支援機関の目標数)	件	17	30	23	23	商工会や金融機関が創業支援を含めた幅広い相談を受け付けた。将来を見越した事業計画を策定支援することにより、創業を後押しした。	今後も商工会に設置したワンストップ相談窓口を中心に創業希望者の困りごと解決していくため、継続していく。	現状維持
商工観光課	商工係	1	創業セミナー開催	118	セミナーの参加延べ数 (市+支援機関の目標数)	人	5	10	0	15	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、セミナーを開催することができなかった。	実施可能なスタイルを模索し、セミナーの開催に向けて取り組む。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		3	活気ある商工業の振興			
施策		2	既存産業の成長支援と地域特性を生かした産業の創出			
担当 部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課	榎林 昭彦
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 既存商工業の経営安定と成長支援 2. 地域資源を生かした魅力ある産業づくりの推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	商工業振興資金利子補給金交付件数(新規)	件/年	目標		30	30	30	30	30	D	30	30.0%
			実績	23	35	29	29	14	9			
2	企業育成資金新規交付件数(新規)	件/年	目標		5	5	5	5	5	D	10	40.0%
			実績	2	5	6	3	4	2			
3	新規立地企業件数 用地1,000㎡以上を取得又は賃貸借し新規立地したもの	件	目標		0	1	1	1	2	D	4	0.0%
			実績	2	0	0	1	0	0			
4	既存企業増設件数 企業立地奨励補助金に該当するもので新規立地を除いたもの	件	目標		1	1	1	1	5	D	10	20.0%
			実績	6	3	1	1	0	1			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
商工観光課	商工係	1	商工業振興資金利子補給金	4,700	新規の申請件数(年間30件を目標)	件	14	30	9	30	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより、設備投資は消極的になったと考えられる。	対象設備や補助率などの見直しも視野に入れて検討していく。	現状維持
商工観光課	企業港湾室	2・3・4	企業支援補助金	15,400	新規の申請件数(新規立地5年間で2件、既存企業の増設5年間で5件)	件	新規0件増設0件	新規1件増設0件	新規0件増設1件	新規1件増設1件	企業立地インセンティブとしては有効と考えられるが、固定資産税対象額を補助金として返還するため市財政への影響が大きい。	対象としている企業立地奨励補助金制度が、少なからず市財政を圧迫する要因となっているため、成果指標の見直しが必要と考えられる。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	122,187	143,710	84,990	111,805
合計(千円)		265,897	143,710	84,990	111,805

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらもいえない
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、設備投資に消極的な傾向にあると考えられる。このため、利子補給金制度を利用する事業者が少なかったため減少した。 また、新規、増設企業件数については実績なし。
		課題	経済状況に応じ、設備投資や新規産業へ取り組みやすくするため柔軟な制度を改正し、周知する必要がある。
今後の施策展開		商工会、ハローワーク等関連団体と連携し、企業に対する設備投資や新規産業の開拓に対する支援を検討していく。	
総合評価	2	【施策の進捗状況・評価】	
		5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		4	働く場所とにぎわいがたくさんあるまち			
政策		4	にぎわいのある港の創出			
施策		1	人が集まるにぎわい空間の創出			
担当 部署	主管課	商工観光課		責任者	主管課	樽林 昭彦
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 要望活動、ポートセールスの継続実施 2. みなとに人が集まるイベントの実施
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段: 指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	全国のコンテナ取扱貨物量に対する御前崎港の利用割合	%	目標		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	B	0.15	93.3%
			実績	0.15	0.11	0.15	0.19	0.18	0.14			
2	クルーズ客船などの寄港数	回(隻)/年	目標		1	1	1	1	2	C	3	50.0%
			実績	1	0	1	1	4	1			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
商工観光課	企業港湾室	1	御前崎港利用促進事業	8,470	コンテナ取扱貨物量の増加	TEU	40,241	40,000	29,635	35,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界経済が低迷したことを受け、取扱貨物量は減少した。	静岡県中西部の荷主の利用港湾及び御前崎港の課題を調査し、インセンティブ制度の周知・拡充に努める。	現状維持
商工観光課	企業港湾室	2	御前崎港客船誘致協議会	6,180	クルーズ客船等誘致活動	回	16	15	4	10	コロナ禍により誘致活動に制限がかかり積極的な活動ができなかった。	新型コロナウイルス感染対策のため、webを活用するなど新たな誘致活動手法を検討・実施する必要がある。 また、寄港に向け、周辺市町も含め背後観光の熟成を実施する。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出		500		
	県支出				
	地方債	36,000	115,100	86,200	55,300
	その他				
	一般財源	162,167	113,055	85,315	106,933
合計(千円)		426,822	228,655	171,515	162,233

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない
		説明	コンテナ取扱貨物量に対する御前崎港の利用割合、クルーズ客船の寄港数とも目標値には達成されなかった。コンテナ取扱量は、日本全体でも取扱量が減ったがそれ以上に御前崎港の取り扱い量も減少してしまった。また、港周辺の賑わい創出については、新型コロナウイルス感染拡大もあり、イベント等が開催できず、各種客船の誘致もできなかった。
	課題	コロナの影響を受けない、リーファーコンテナを利用した取扱品目の増加や、安全安心なクルーズ客船の受け入れ方法の検討が必要。	
今後の施策展開	御前崎港の利用促進を図るため、コンテナ利用助成等インセンティブ制度の周知徹底を図っていく。 また、客船等の寄港については、帆船等の寄港を含め、クルーズ船社、各種団体への寄港要請・誘致活動に努めるとともに、令和3年度の開港50周年記念事業の準備を進めていく。		
総合評価	2	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策		1	スクラムで推進する御前崎の教育			
施策		1	スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力の向上			
担当 部署	主管課	学校教育課		責任者	主管課	鈴木 秀和
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. コミュニティ・スクールの推進による園・学校・家庭・地域の教育力の向上 2. 防災教育の充実・学校の危機管理体制の強化 3. キャリア教育の推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	スクラムスクール運営協議会の認知度	%	目標		0	20	25	40	50	B	80	75.8%
			実績	—	15.5	22.7	20.5	20.7	37.9			
2	防災への意識が高まった児童生徒数の割合(12月防災訓練参加者)	%	目標		60	65	70	75	80		90	***
			実績	33	55	60	88	73				
3	将来の夢や目標を持つ子どもの割合	%	目標		75	75	78	80	83		90	***
			実績	78.7	72.3	79.5	79.2	75.7				
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
学校教育課	指導係	1	コミュニティ・スクール推進事業	2,092	シニアスクール参加者述べ人数	人	70	60	46	60	感染予防対策をして、満足度の高い事業が展開できた。シニアスクールは、リピーターが多く、新規参加者が増えないことと、コロナ禍で子供たちとの交流ができにくかったことが課題である。	スクラムスクール運営協議会を持続可能な体制にするため、学校単位に指定する。シニアスクールは、昨年同様、募集期間、内容等を一部変更し、浜岡中、白羽小で実施する。	改善・効率化
学校教育課	指導係	2	エネルギー教育推進事業	0	エネルギー教育授業実施率	%	100	100	100	100	コロナ禍のため、規模を縮小して5校中4小学校で浜岡原子力発電所の見学を行った。また全小・中学校で社会科や理科等でエネルギー教育を行った。	感染予防のため、内容を一部変更して実施する。	改善・効率化
学校教育課	指導係	3	キャリア教育推進事業	753	キャリア教育実施率	%	100	100	100	100	中学校では、コロナ禍ではあったがビデオ録画で職業講話を行うことができた。また、各小・中学校でコロナ禍のためできる範囲で地域人材を活かしたキャリア教育が実施できた。	感染予防対策を講じて中学校では対面式で職業講話を行う。また、小・中学校でも地域人材を活かしたキャリア教育の充実を図る。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	0	0	0	0
	県支出	464	600	514	600
	地方債	0	0	0	0
	その他	173	150	0	0
	一般財源	2,991	3,624	2,331	2,873
合計(千円)		8,002	4,374	2,845	3,473

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	スクラムスクール運営協議会を2回開催し、園・学校・家庭・地域で「ゲーム障害・ネット依存」に関する子供たちの課題を共有した。コロナ禍においても、スクラムスクール運営協議会、シニアスクール、エネルギー教育、キャリア教育の内容等を一部変更して、感染防止対策を講じながら、実施することができた。
		課題	園・学校・家庭・地域・関係団体・産業界・行政の持続可能な連携体制を構築することが課題である。
今後の施策展開		スクラムスクール運営協議会を市全体の一体的な取組を継続しつつ、学校単位に指定を変更することによって、連携体制の強化を図る。また、シニアスクールは、浜岡中学校新校舎が完成したことから、会場を浜岡北小から浜岡中へ変更する。	
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標	5	郷土を愛し未来を創る人づくり
政策	1	スクラムで推進する御前崎の教育
施策	2	地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進
担当部署	主管課 関係課	社会教育課 責任者 主管課 関係課 小野田 明人

施策の柱・目標	1. 地域で育む青少年健全育成の推進 2. 青少年の体験活動の推進 3. つながる家庭教育支援事業の推進 4. グッドマナー運動の推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	サポート隊の登録人数	人	目標		1,200	1,200	1,250	1,270	1,300	C	1,500	74.8%
			実績	1,119	1,139	1,154	1,116	1,122	973			
2	青少年指導者初級認定者数	延べ人数	目標		136	152	168	184	200	B	300	88.0%
			実績	106	129	137	158	163	176			
3	家庭教育支援員の人数	人	目標		4	6	7	8	10	C	20	70.0%
			実績	0	4	6	7	7	7			
4	グッドマナー運動の認知度 市民意識調査アンケートの数値	%	目標			47	48	49	50	B	80	75.8%
			実績	—	32.5	36.8	36.1	37.8	37.9			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
社会教育課	生涯学習係	1	サポート隊地区説明会	64	サポート隊登録者の人数	人	1,122	1,130	973	1,000	地区センターと地区社会教育委員、学校のPTAを中心に地域での子どもたちの見守り活動を実施。それぞれの活動内容を共有し、よりよい見守り活動となるよう取り組んだ。	地域の見守り活動として市「サポート隊」、警察「こども110番の家」、県「声掛け運動」が実施されている。それぞれの取組を地域の方や子どもたちにわかりやすく伝える必要がある。	改善・効率化
社会教育課	生涯学習係	2	青少年リーダー育成事業	1,869	中学生の初級認定者の人数	人	1	2	6	4	小学校から中学校へ進級すると部活動との兼ね合いから継続的な参加に繋がらないことがある。	小学生で御前崎クエストを経験した者が、中学進学により途切れないよう、御前崎クエストに関わり学んだことを活かすことができるよう、学びを活かす場や機会を検討していく必要がある。	改善・効率化
社会教育課	生涯学習係	3	家庭教育支援員のあそび塾やだれでも食堂もぐもぐ、その他家庭教育支援の場への参加	158	参加回数	回	14	20	22	34	「共働きの子育て世帯」を対象に「だれでも食堂もぐもぐ」、「家にこもりがちな未就学児親子」へ「あそび塾」と、家庭教育支援の場づくりを行い、多様な場づくりができた。だれでも食堂もぐもぐは補助金とし、市民や団体による活動ヘフトした。	家庭教育支援員の活動の継続性・多様性のため、支援員の増員をはかる必要がある。社会教育学級など学びを深めている方へ支援員についてお知らせをしてすそのを広げていく。	改善・効率化
社会教育課	生涯学習係	4	スクラムグッドマナー運動との連携事業(地域賛同者のスクラムグッドマナーTシャツの着用)	146	地域住民からの賛同者	人	120	85	76	80	スクラムグッドマナーTシャツ着用者=取り組みの賛同者=子どもたちにとっては安全な人、の目印となってきた。スクラムグッドマナーの趣旨を伝える説明やチラシにより活動の啓発に取り組んだ。	今後も地域での説明やチラシによる啓発に取り組むとともに、スクラムグッドマナーTシャツの着用例を周知していく。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,778	5,736	2,237	2,953
合計(千円)		11,514	5,736	2,237	2,953

【進捗評価】

A 100%以上

B 75%以上100%未満

C 50%以上75%未満

D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	地域・学校・家庭の連携による青少年の健全育成の取組をすすめることで、概ね目標を達成している。御前崎クエストは継続的な参加者や兄弟での参加が増えていることから、中学生参加者による青少年指導者初級認定者数が増えてきている。
	課題		①地域における青少年健全育成活動がスムーズに行うための支援や仕組みが必要。 ②御前崎クエスト、高校生以上のリーダープログラムは高校生の参加が難しい。
総合評価	今後の施策展開		①公民館が地区センターへ移行したことにより地区組織が変更しているため、青少年健全育成地区推進委員を地区センター長から地区選出社会教育委員等へ見直す ②御前崎クエストリーダープログラムについて池新田高校へ参加者の連携に取り組む
	総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

令和2年度 静岡県御前崎市施策評価シート

施策コード

P5-2-1

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり		
政策		2	スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成		
施策		1	御前崎を愛し知・徳・体の調和のとれた生き抜くための資質・能力の育成		
担当 部署	主管課	学校教育課		責任者	主管課
	関係課			関係課	鈴木 秀和

施策の柱・目標	1. これからの時代に必要となる資質・能力の育成 2. 心と体づくりの推進 3. 個にきめ細やかに対応する教育環境の充実
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	授業が分かると感じている生徒の割合	%	目標		86.00	87.00	87.50	87.50	88.00	A	90.00	104.8%
			実績	86.15	86.00	84.30	87.50	90.40	92.20			
2	学年に応じた望ましい睡眠時間をとっている小中学生の割合	%	目標		59	60	65	70	75	A	85	102.9%
			実績	—	59	56	58	77	77.2			
3	中学生の不登校出現率	%	目標		4	3.8	3.5	3.3	3	B	2	78.9%
			実績	4	4.1	5.4	4.7	5.2	3.8			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

[illegible]

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	16,979	11,604	2,283	2,131
	合計(千円)	28,583	11,604	2,283	2,131

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	児童生徒の安全・安心に配慮しつつ、知徳体の調和のとれた児童生徒の育成に向けて、各事業を推進した。全国学力学習状況調査が、コロナの影響で中止になったが、市独自の標準学力調査を実施したことで、授業改善につなげることができた。
		課題	コロナの影響で、県外講師を招聘した校内研修等がほとんど中止になった。オンラインでの研修が実施できる体制整備が必要である。不登校は、中学校で減少したが、小学校は増加傾向が続いている。
	今後の 施策展開		標準学力調査を経年比較したり、オンラインによるスクラムゼミ等を実施し、新学習指導要領で求められる資質・能力を育む授業改善を推進する。不登校を未然防止するために、中学校区でスクラム合同研修会を開催し、魅力ある園・学校づくりを進める。

【施策の進捗状況・評価】

5. 施策目標を十分達成し
4. 概ね施策目標を達成し
3. どちらともいえない
2. やや施策目標に達して
1. 施策目標の達成には遠

5

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策		2	スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成			
施策		2	主体的な遊びを通して人として生きていくと力の基礎の育成			
担当 部署	主管課	学校教育課		責任者	主管課	鈴木 秀和
	関係課	こども未来課 教育総務課			関係課	

施策の柱・目標	1. 「遊び込む」子どもの育成 2. 乳幼児期からの家庭教育力向上への支援 3. 乳幼児期における個性伸長支援教育の推進 4. 園経営の充実
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	「子どもが園に通うことをたのしみにしている」と感じる保護者の割合	％	目標		80	80	80	80	80	A	90	123.8%
			実績	—	97	97	98	97	99			
2	子育てを楽しいとかんじることの方が多い人の割合	％	目標		75	75	75	75	75	A	80	126.7%
			実績	65	95	94	98	98	95			
3	園の発達支援体制に対する満足度	％	目標		70	70	70	70	70	A	80	140.0%
			実績	—	93	97	94	98	98			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度）の方針
課名	係名				指標名	単位							
学校教育課	指導係	1	幼稚園・保育園の交流と連携	170	「子どもが園に通うことをたのしみにしている」と感じる保護者の割合(保護者アンケート)	％	97	80	99	80	園の保育の要であり、これからの市の乳幼児教育、保育を担うミドルリーダ－の人材育成が必須である。	研修が無理なくできる職員体制の整備や資質向上に効果的な研修の工夫に努める。	改善・効率化
学校教育課	指導係	2	親が子育ての喜びを感じ、幼児が健やかに育つ支援の充実	784	子育てを楽しいと感じることの方が多い人の割合	％	98	75	95	75	目標数値に達しているが、昨年度より3％割合が下がり、育児不安、育児困難を抱える保護者が増加している。	こども未来課等関係機関との連携を深め、様々な方面から保護者を支えていく。	改善・効率化
学校教育課	指導係	3	特別支援員の資質向上	0	園の発達支援体制に対する満足度	％	98	70	98	70	発達の遅れや発達障害等の支援を要する子への適切な早期支援が必要である。	園・家庭・療育との連携を図り、2号認定の長時間部や0～2歳児の3号認定に対しても支援員を配置し、手厚い保育や支援を行うために保育士確保に努める。	改善・効率化

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	55,000	55,000	0	0
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	90,410	97,128	954	1,517
合計(千円)		297,538	152,128	954	1,517

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	新型コロナウイルスへの感染防止対策を講じながら、「遊び込む子」の育成を目指して施策を実施した。保護者の満足度も高く、乳幼児教育に対する一定の評価が得られている。
	課題		ミドルリーダ－の育休、部分休業により、保育の質を確保しながら組織的な動きを維持することが難しい。また、要支援児、保護者支援ケースが増加しており、その対応に課題がある。オンラインによる園研修を実施する環境が整っていないため、県外講師を招聘した研修の実施に課題がある。
	今後の施策展開		「遊び込む子」の育成を目指し、魅力的で適切な環境づくりに資する研修を企画する。また、Wi-Fi環境が整っている学校を会場にした園研修を実施する。要支援児への支援、保護者支援の充実に向けて、保護者、学校、関係課等との連携体制を整備する。
総合評価	5		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標	5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策	2	スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成			
施策	3	安全で充実した教育環境の整備			
担当部署	主管課	教育総務課	責任者	主管課	高田 和幸
	関係課	学校教育課		関係課	鈴木 秀和

施策の柱・目標	1. 安全・安心な教育環境の整備 2. 情報化社会に見合ったICT機器の整備
---------	---

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出		89,970	64,125	0
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	169,086	167,530	29,925	0
合計(千円)		169,086	257,500	94,050	257,500

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	5. 施策目標を十分達成している
		説明	小中学校のトイレの洋式化について、各校に最低一つ和式を残し全ての学校での洋式化した。また、1人1台パソコンについては国のGIGAスクール構想もありもあり、当初目標より早期に達成した。
		課題	導入PCの維持・更新
今後の施策展開		導入した1人1台PCの更新計画を立てるとともに、総合的なICT機器導入計画を立てる。	
総合評価	5	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度												
No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	トイレの洋式化率	%	目標	30	40	50	60	70	75	A	75	101.3%
			実績	30	30	50	66	76	76			
2	教育用パソコン1台当たりの児童生徒数	人	目標	7.7	6.0	5.5	4.5	4.0	3.6	A	3.6	360.0%
			実績	7.7	5.2	3.3	3.2	3.2	1.0			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
教育総務課	施設管理係	1	学校施設の整備(小学校)	0	トイレの洋式化率	%	72	75	76	75	目標達成済み	目標達成済み	現状維持
教育総務課	施設管理係	1	学校施設の整備(中学校)	160,380	トイレの洋式化率	%	100	100	100	100	目標達成済み	目標達成済み	現状維持
教育総務課	施設管理係	2	学校施設の整備(授業用情報機器)	9,000	教育用パソコン1台当たりの児童生徒数	人	3.2	1.0	1.0	1.0	文部科学省GIGAスクール構想にそった児童生徒用端末の整備により目標達成済み	目標達成済み	現状維持

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策		2	スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成			
施策		4	安全で魅力ある学校給食の提供と食育・地産地消の推進			
担当 部署	主管課	学校給食共同調理場		責任者	主管課	植田 佳浩
	関係課	教育総務課			関係課	高田 和幸

施策の柱・目標	1. 食育と地産地消の推進 2. 給食内容の充実 3. 給食費の未納防止 4. 施設や設備の計画的整備
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	食材の地産地消率	%	目標	58.3	58.0	60.0	60.0	60.0	60.0	C	63.0	66.5%
	県内産		実績		61.7	63.5	53.7	37.4	39.9			
2		%	目標	25.0	25.5	26.0	26.5	27.5	28.0	B	31.0	78.9%
	市内産		実績		25.5	25.9	27.8	26.3	22.1			
3	給食の残菜率	%	目標	3.6	3.2	3.0	2.8	2.6	2.5	D	1.5	42.4%
			実績		3.7	3.8	4.6	4.5	5.9			
4	給食費納付率（現年度分納付率）	%	目標	98.84	98.92	98.94	98.96	98.98	99.00	A	100	101.0%
			実績		99.67	99.76	99.93	99.93	100.00			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度） の方針
課名	係名				指標名	単位							
学校給食共同調理場		1・2	献立表の調整	—	適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	常に食材の地産地消について心がけて発注業務を行っている。しかし、一部納入業者において地産地消についての知識が乏しいように感じられる。また、食材により他産地との価格の格差等の問題もある。		
学校給食共同調理場		3	栄養指導	—	栄養指導開催回数	回	190	193	123	150	残菜率は、新型コロナウイルスの影響により、例年と比較し全体的に高い水準で推移した。更に、栄養指導の開催回数も例年と比べ少なかった。		
教育総務課	総務係	4	給食費徴収事務	—	給食費納付率（現年度分納付率）	%	99.93	99.00	100.00	—	令和2年度から給食費が無償化となり、御前崎中学校の一部生徒からの徴収となった。保護者の協力もあり、徴収率は100%となった。	給食納付率は最終目標に達成したため、新たに指標を設定し継続して行う。	

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	20,000	127,150	74,000	69,930
	県支出				
	地方債		1,184,100	108,000	67,900
	その他	158,279	184,240	62,126	131,558
	一般財源	102,599	212,333	720,079	234,093
合計(千円)		280,878	1,707,823	964,205	503,481

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない	
		説明	給食費納付率は、最終目標に達成した。しかし、食材の地産地消率と残菜率ともに新型コロナウイルスの影響により、目標値を大きく下回った。	
	課題	食材の地産地消率については、農林水産課・農協・地元農家等の理解を得て、計画的かつ安定的に食材が納入できる体制づくりが必要である。残菜率は、献立の工夫はもちろんのことであるが、園・学校での指導と保護者の協力を得て食物の好き嫌いをなくし、食べ残しを減らすことが必要である。		
総合 評価	今後の 施策展開	食材の地産地消は、地元生産者等と連携を強め、計画的かつ安定的にそして安価に供給できるようなシステムの構築に努めたいと考える。また残菜率については、家庭での食事が大切であり、保護者または園・学校と連携し食育の大切さの周知に努めていきたい。		
	2	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である		

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり		
政策		3	誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進		
施策		1	楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進		
担当部署	主管課	社会教育課		責任者	主管課 小野田 明人
	関係課			関係課	

施策の柱・目標	1. 誰でも参加できる公民館運営の充実 2. 文化・芸術に触れる機会の提供 3. 社会教育施設の維持管理
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	生涯学習・公民館活動事業への参加人数	人	目標		196,000	196,500	197,000	197,500	198,000	B	200,000	0.0%
			実績	195,988	200,701	192,364	194,054	178,387				
2	御前崎市民会館の利用者数	延べ人数	目標		28,800	29,100	29,400	29,700	30,000	D	32,000	26.6%
			実績	28,661	28,149	23,576	27,437	29,019	7,992			
3			目標									
			実績									
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
社会教育課	生涯学習係	1	公民館活動支援補助金	20,000	公民館活動(講座・イベントなど)への参加人数	人	192,364	-			R2.4～公民館の地区センター移行		
社会教育課	芸術文化係	2	文化祭(芸能発表)	157	来場者数	人	880	0	0	200	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。しかし、CATVを利用し、無観客で配信を行った。	令和3年度は、市民会館がコロナワクチン接種会場になっているため、佐倉地区センターで文化祭を行う。芸能発表の場を守る取り組みを、柔軟に対応していきたく	改善・効率化
社会教育課	生涯学習係		生涯学習講座	689	生涯学習講座への参加者数	人	-	—	937	950	公民館の地区センターへの移行により、生涯学習講座の位置づけを明確にした。、また、地区センターや振興公社などで実施している講座をガイドブックにまとめ市民が学びの場の情報を得やすい環境を整えた。	引き続き市民に分かりやすく学びの場の情報提供をするとともに、ライフステージごとの目指す姿と学びの場の整理と、市民が学習履歴を記録できるものなどを作成していく。	拡大

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費(財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,839	727	689	
合計(千円)		18,839	727	689	0

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している	
		説明	生涯学習基本方針を策定し、公民館が地区センターへの移行後も、市民の学びが途切れないように、学びの場をわかりやすく伝えるための「生涯学習ガイドブック」を発行するとともに、世代に応じた学びの場を提供する新たに市民講座を新設した。	
		課題	①ライフステージごとの目指す姿とその目標、学びの場が整理されていない ②市民の学びを活かすための仕組みができていない	
今後の施策展開			①おまえざき学びの航海図を作成し、市民一人ひとりが世代にあった主体的な学びと継続的な学びを推進する ②現状ある学びの場や団体、仕組みなどを見える化する	
総合評価		4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策		3	誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進			
施策		2	郷土の誇りである文化財の保存と活用			
担当 部署	主管課	社会教育課		責任者	主管課	小野田 明人
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 文化財の積極的な活用 2. 文化財の保護を支える次世代の育成 3. 御前崎のウミガメの保護と環境教育の推進
---------	--

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,881	2,061	1,860	2,634
合計(千円)		1,881	2,061	1,860	2,634

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	市指定文化財の指定件数とウミガメ保護活動の認知度の目標値は達成されているが、文化財講座の満足度は目標達成されていない。
	課題	埋蔵文化財出張授業を充実させ、参加者により一層の満足感を持ってもらえるようにする必要がある。 指定文化財の指定や文化財保護審議会の開催が計画的に行われていない。ウミガメの産卵数がいちじるしく減少している為、放流観察会を中止するなど、ウミガメ保護活動の周知方法について検討する必要がある。	
総合 評価	今後の 施策展開	御前崎市の様々な文化財の魅力をを伝え、郷土への誇りと愛着を持ってもらえるようにウミガメ保護も含め文化財出張講座の内容と周知広報活動を充実させる。	
	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	対R2年度 達成度
1	指定文化財の指定数	件	目標		32	33	33	33	33	A	37	100.0%
			実績	29	32	32	32	32	33			
2	文化財講座の満足度	%	目標		40	50	60	70	80	B	90	87.5%
			実績	—	65	93	92	90	70			
3	ウミガメ保護活動の認知度 市民意識調査アンケートの数値	%	目標			70	70	70	70	A	80	100.7%
			実績	—	64.4	64.2	63.4	65.3	70.5			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
社会教育課	芸術文化係	1	文化財保護審議会の運営	26	教育委員会の諮問による市指定文化財候補の指定についての審議数	件	0	1	1	1	指定文化財の指定にあたり、文化財に精通している委員が少ないため、現状は指定文化財の建議に基づく調査を委員以外の専門家に依頼している。	市内8地区の地区センターから推薦された委員以外に、種別ごとの文化財を専門とする市内外の専門家を委員にするなど、委員の構成や選考方法を検討する。	改善・効率化
社会教育課	芸術文化係	2	文化財出張授業	64	文化財講座の満足度	%	90	80	70	80	佐倉地区で文化財講座を開催したが、満足度が徐々に下がってきている。また、市民を対象として埋蔵文化財出張授業を開催しているが、今年度は依頼がなかった。	文化財講座等の内容を充実させるとともに、周知や広報を積極的に行い、多くの小学校や地区センターを利用している団体等からの依頼を増やす。	改善・効率化
社会教育課	芸術文化係	3	ウミガメ保護の促進	1,770	市民を対象としたウミガメ保護に関する講座の実施回数	件	3	2	0	1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、産卵・放流観察会を中止した。市民にウミガメ保護活動の周知が行えなかった。	令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、産卵・放流観察会を中止。また、放流観察会については産卵頭数の減少もあり、今後廃止していきたい。その代わりとして、市内小学校に出張授業という形でウミガメ保護活動の周知を図っていきたい。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標		5	郷土を愛し未来を創る人づくり			
政策		3	誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進			
施策		3	市民とともに考えともに歩む図書館づくり			
担当 部署	主管課	市立図書館		責任者	主管課	西郷 成美
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 市民力を生かした図書館づくりの推進 2. 子どもの読書活動の推進 3. 生涯学習拠点としての施設の充実
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	年間来館者数	人	目標		154,000	154,300	154,600	154,900	155,200	B	156,700	76.1%
	入館者数		実績	153,680	161,841	156,844	147,583	144,445	118,071			
2	御前崎市の子ども1人当たりの年間児童書貸出冊数	冊	目標		27.9	28.0	28.1	28.2	28.3	B	28.8	83.4%
	市内12歳以下の子ども一人当たりの年間児童書貸出冊数		実績	27.8	31.0	28.1	28.7	27.7	23.6			
3	図書館サービスの充実に満足している市民の割合	%	目標		90.7	90.7	90.8	90.8	91.0	B	91.0	99.7%
	市民満足度調査による数値		実績	90.6	91.4	91.6	93.2	93.0	90.7			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
図書館	図書係	3	市民を惹きつける資料選び	24,000	貸出者数	人	93,459	94,000	84,432	90,000	目標を大きく下回った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や長引く外出自粛などが影響していると思われるが、利用は年々減少している。	図書除菌機の設置など感染対策を講じた運営をPRLし、引き続き利用者が求める蔵書構成に留意した選書を実施していく。また新たなサービスとして電子図書の導入について検討する。	現状維持
図書館	図書係	1	新規利用者の開拓		新規登録者数	人	713	750	628	700	目標を大きく下回った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や長引く外出自粛などが影響していると思われるが、図書館への興味が低下している。	引き続き、ホームページや公式SNSを活用して市民生活に役立つ図書館をPRするとともに、電子図書の導入を検討し利便性の向上を図る。	現状維持
図書館	図書係	2	子どもの読書推進事業		巡回貸出冊数	冊	5,382	5,500	3,910	5,500	目標を大きく下回った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う巡回貸出の中止が影響していると思われるが、巡回貸出の会場に来てくれる児童が減少している。	園児・児童が借りたい図書の選定に留意し、貸出が増えるよう園・学校と連携を図る。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	43,000	61,000	61,000	
	県支出				
	地方債				
	その他		9,880		
	一般財源	81,549	90,863	84,339	
合計(千円)		124,549	161,743	145,339	0

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	来館者数及び児童書の貸出冊数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館などもあり、大幅な減少となった。 また、図書館サービスに対する市民満足度は、高い数値を維持している。
	課題		スマホ・PCなど情報メディアの普及や生活環境の変化などにより、読書離れ・活字離れが懸念されているため、子供の時から本に親しむ習慣を身に付けるよう、子どもの読書活動のさらなる推進が必要である。
今後の 施策展開			園・学校・地域などと連携を密にして、「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの時から本に親しむ環境づくりに取り組んでいく。
総合 評価	4		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		1	市民力・地域力・行政組織力の向上			
施策		1	市民や団体が主体となり活躍できる地域づくり			
担当 部署	主管課	協働推進室		責任者	主管課	清水 正明
	関係課	企画政策課			関係課	

施策の柱・目標	1. 市民協働と地域コミュニティーの推進 2. 定住化促進による活力あふれるまちづくりの推進 3. 国際交流を担う人材の育成 4. 男女共同参画社会の推進
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	行政と市民の協働への取り組みに満足している市民の割合	％	目標		59	60	61	62	63	D	68	29.7%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	58	19	19.5	15.3	17.3	18.7			
2	人口における社会増減数（転出超過数）	人	目標		-238	-189	-140	-91	-45	D	±0	14.2%
	転出超過数（市民課データ）		実績	-287	-114	-116	-262	-280	-316			
3	海外研修内容に満足している参加者の割合	％	目標		97.4	98.1	98.8	99.5	100	D	100	0.0%
	海外研修参加者へのアンケート調査による数値		実績	96.7	91.2	97.3	96.5	98.3	***			
4	男女が共同して参画する社会づくりに満足している市民の割合	％	目標		71	72	73	74	75	D	80	32.1%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	70	18.4	18.9	17.1	18.6	24.1			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 （千円）	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度） の方針
課名	係名				指標名	単位							
企画政策課	協働推進係	1	地域コミュニティ活性化事業	705	まちづくり活動支援補助金 利用団体数	団体	11	15	8	15	新型コロナウイルスの影響もあり市民活動及び申請件数は減少したが、自主的な活動を行う団体に支援できた。	地域協働支援アドバイザーへ委託し市民活動団体を支援しているが、行政と市民の間に立つ中立的立場の中間支援組織のあり方について研究していく。	現状維持
企画政策課	協働推進係	1	市民活動団体等の支援	0	NPO交流会の開催回数	回	1	0	***	***	新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、今年度の実施なし。	専門的な知識を有する地域協働支援アドバイザーとの連携により、実情に即した内容や開催方法を検討していく。	拡大
企画政策課	経営戦略係	2	移住定住促進事業	38,043	市外からの移住世帯数（各種 住宅取得補助金を利用した市 外からの転入世帯数）	世帯	14	20	12	20	新型コロナウイルスの影響によるイベント等の中止によるPR不足、建築資材の輸入や生産遅れもあり移住を含め新規で住宅を建てる人は減少した。	令和2年度から移住者への補助額を増額しており、広くPRすることにより移住を促進する。	現状維持
企画政策課	経営戦略係	2	移住定住促進事業	0	婚活イベント参加申込者 数	人	2	0	***	***	新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、広域や民間でのイベントも含め実施なし。	市の事業として実施することは困難なため、団体や民間が実施する事業へ支援等を検討していく。	廃止
企画政策課	協働推進係	3	海外への研修・派遣の拡大	491	海外研修募集定員に対す る応募者数割合	％	66	70	***	70	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画していた事業（海外研修や交流会）はすべて中止となり、コロナ禍に対応した研修内容を検討する必要がある。	海外研修は子どもたちにとって有意義な実習であり継続していくが、国内研修やオンラインによる交流など、コロナ禍における代替事業も検討する。	現状維持
企画政策課	協働推進係	4	男女共同参画意識高揚への機運醸成の ための普及啓発活動	7	男女共同参画講演会参加 者数	人	78	100	***	50	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画していた事業（講演会や研修会）はすべて中止となり、コロナ禍に対応した男女共同参画を推進を検討する必要がある。	男女共同参画社会づくりの推進を広くPRしていく。更にLGBTやSDGsなど、世界的・社会的潮流も取り入れて実現を目指す。	現状維持
企画政策課	協働推進係	4	政策・方針決定過程への女性の参画促 進事業	0	女性人材バンク「やまもも ネット」への登録者数	延べ人数	39	44	39	45	庁内の審議会等における女性の比率は、21.5%となり、昨年度より0.6%の増となった。なお、女性人材バンクへは新たな登録者はなく、周知方法の検討が必要である。	政策・方針決定過程における女性の参画を拡大するための制度を生かし、ネットワークづくり、人材育成のための研修会を実施していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト（千円）		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（ 財源内訳）	国支出	0	0	0	0
	県支出	150	2,250	600	3,600
	地方債	0	0	0	0
	その他	35,998	39,074	491	31,826
	一般財源	67,175	51,437	38,155	47,974
合計（千円）		196,084	92,761	39,246	83,400

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課 評価	施策の 進捗状 況	評価	3. どちらもいえない
		説明	市民協働について市民向けの講座や職員向けの研修会を開催し市民活動の活性化を図る。移住定住については市内外でPRするとともに、新規の住宅取得者に対して補助金を交付し移住定住の促進を図る。男女共同参画は、講演会等により理解促進を図る。国際交流事業は、多文化共生社会の実現に向け小中高生への海外研修を実施している。
	課題	市民協働や男女共同参画について市民の意識・満足度はかなり低いため、他市町の好事例等を研究するとともに、広く取組や手法を周知していく必要がある。また、移住定住のイベントや国際交流事業は、コロナの影響により事業の中止を余儀なくされたため、現地へ行かなくてもできるような事業を検討する必要がある。	
今後の 施策 展開	市民協働は専門知識を有するアドバイザーと連携し、効果的な支援を図るとともに、市民を巻き込んだ取組を検討していく。男女協働参画は、視野を広げ男女だけにとらわれず性に関する平等について周知や研修等を展開していく。移住定住のPRや国際交流については、コロナ禍で不透明内状況が続く中、オンラインによる時代に即した内容を検討する。		
総合 評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		1	市民力・地域力・行政組織力の向上			
施策		2	市民の期待に応える人材の育成			
担当 部署	主管課	総務課		責任者	主管課	高塚 高寿
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 職員研修の充実と推進 2. 職員人事交流制度の活用 3. コンプライアンスの順守・徹底
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	研修により職員の資質が向上した割合	％	目標		89.8	89.8	90.0	90.0	90.0	A	92.0	109.8%
			実績	89.8	93.4	91.0	95.2	96.1	98.8			
2	人事交流により資質が向上した職員の割合	％	目標		100	100	100	100	100	A	100	100.0%
			実績	100	100	100	100	100	100			
3	市役所の仕事に満足している市民の割合 市民意識調査アンケートの数値	％	目標		65	66	67	67	67.0	C	70.0	61.5%
			実績	64.6	35.0	38.5	38.6	43.7	41.2			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度） の方針
課名	係名				指標名	単位							
総務課	人事給与係	1	自己研鑽への呼びかけと職員の知識向上	1,097	3市広域職員研修への参加推奨	人	168	50	98	156	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3市広域職員研修の規模を縮小して実施したが、代替措置としてeラーニングを実施したことで、知識向上の機会を確保した。	基本的な感染防止対策に加え、蜜を避けるよう部屋を分けて集合研修を実施するなど、受講者の環境を整備して自己研鑽の場を提供していく。	現状維持
総務課	人事給与係	1	自己研鑽への呼びかけと職員の知識向上	160	通信教育による自主研修の受講推奨	人	2	8	6	8	専門スキルを習得するため、6名が各研修を受講した。研修内容は、各職場の職務遂行に活用され、職員の知識向上に繋がっている。	これまでの受講実績から、専門職の職員に受講傾向がみられるため、一般事務職員にも勧奨していく。	現状維持
総務課	人事給与係	2	人事交流制度の活用による職員の資質向上と連携強化	0	3市及び県との人事交流実施	人	2	2	2	1	令和2年度は静岡県及び牧之原市と人事交流を行い、職員相互の実務研修や自治体間の連携を図ることができた。	令和2年度をもって、3市の人事交流事業は終了したが、自治体間の連携及び能率的な行政運営を図るため、今後も静岡県との人事交流は継続していく。	現状維持
総務課	人事給与係	3	コンプライアンス意識の向上と市民に信頼される職員の育成	360	コンプライアンス研修への参加推奨	人	84	80	93	250	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合研修の代替措置としてeラーニングを実施したことで、研修の機会を確保した。	職員のコンプライアンス意識の希薄化から、次年度は全職員を対象に実施する。	拡大

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他	550	713	255	625
	一般財源	2,235	2,129	1,841	1,720
合計(千円)		5,627	2,842	2,096	2,345

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	3市広域研修は、コロナ感染拡大対策のため、規模縮小並びにeラーニングにて、研修の機会を確保した。自主研修は、目標値を下回ったが、専門スキルの習得ができた。人事交流は、静岡県と牧之原市で人事交流ができた。コンプライアンス研修は課長補佐以上の職員を対象に実施した。
		課題	・コロナ感染対策を講じた研修会の実施 ・専門性が高い自主研修への、一般事務職員の積極的な参加 ・法令遵守意識の欠如
	今後の施策展開	社会情勢の変化に対応した研修等を実施する。コロナ感染拡大対策を講じた研修を実施する。法令遵守の欠如の改善を図るため、全ての職員を対象とした研修を実施する。	
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		1	市民力・地域力・行政組織力の向上			
施策		3	効率的で柔軟性のある組織づくり			
担当 部署	主管課	総務課		責任者	主管課	高塚 高寿
	関係課	財政課			関係課	渥美 秀和

施策の柱・目標	1. 定員管理の適正化 2. 適正な人事評価制度の活用 3. 職員の福利厚生の充実 4. 行政経営管理システムの確立
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	管理職全体に対する女性管理職の割合	％	目標		4.00	5.00	6.00	7.00	7.00	B	14.00	95.3%
			実績	3.45	7.14	5.71	5.88	5.71	6.67			
2	仕事に満足している職員の割合	％	目標		87.0	87.2	87.5	87.7	88.0	B	88.0	89.0%
			実績	86.8	85.3	86.7	86.3	83.0	78.3			
3	ストレスチェックにおける高ストレス者の割合	％	目標		10	10	10	10	10	B	8	107.0%
			実績	－	7.3	11.7	10.6	9.4	10.7			
4	市役所の仕事に満足している市民の割合 市民意識調査アンケートの数値	％	目標		65	66	67	67	67	C	70.0	61.5%
			実績	64.6	35.0	38.5	38.6	43.7	41.2			
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度）の方針
課名	係名				指標名	単位							
総務課	人事給与係	1	女性管理職の登用推進	0	女性職員の意識改革を目的とした研修への参加推奨	人	4	5	3	3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた女性職員向け研修が中止となった。唯一オンラインで開催された女性管理職向け基調講演会に3名が出席し、コロナ禍による仕事の生産性を学んだ。	女性職員を管理職として登用するためには、ワークライフバランスの実現や働き方改革の推進は欠かせないため、必要な研修や講演聴講の機会を継続的に提供していく。	現状維持
総務課	人事給与係	2	適正な制度運用と職員のモチベーション向上	440	評価者及び被評価者が人事評価を正しく理解するための研修への参加推奨	人	56	50	31	41	人事評価における評価エラー等の排除を目的として、評価者・自己評価研修を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を絞っての開催となってしまった。	分析結果によると、評価の中心化傾向が顕著で、上位成績者の出現が少なかった。職員のモチベーションを向上させるためにも、評価エラーの徹底的な排除と中心化傾向の解消を図るよう職員の意識付けに努める。	現状維持
総務課	人事給与係	3	ストレスチェックの実施とメンタル不調による長期休職者の未然防止	460	ストレスチェックと連動したメンタルヘルス研修への参加推奨	人	128	125	76	76	eラーニングにより、セルフケア研修は全職員、ラインケア研修は課長補佐以上の職員を対象に実施し、ストレスに対する理解を深め、対処する手法を学んだ。	今後もストレスチェックや職員なんでも相談を効果的に活用していただくよう、引き続き、PRや声掛けを実施していく。	現状維持
財政課	資産経営係	4	行政経営管理の推進	0	経営管理分野に関係する課での打合せ	回	1	1	1	1	関係3課（総務課・企画政策課・財政課）の担当者レベルで打合せを行い、現状把握と意識合わせを行った。	社会情勢や市民ニーズの多様化等に柔軟に対応していくため、今後も継続的に打合せを行い、時代に即した組織運営ができているか検討を進めていく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	26,000	33,968	28,785	22,990
合計(千円)		59,968	33,968	28,785	22,990

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	管理職全体に対する女性管理職の割合は、昨年度と比較して低下しており、目標値に達していない。適正な人事評価制度の運用並びにストレスチェックの実施については、参加者を絞るなどコロナ感染拡大防止に配慮した形で実施した。
	課題	女性職員の管理職登用については、女性職員の意識改革が必要であると思われる。高ストレス者の割合が前年度を上回った。（県の指導で消防署は単独でストレスチェックを実施したため、分母が小さくなった）	
	今後の施策展開	女性職員の意識改革のため、必要に応じた研修並びに講演会などを実施する。公平で納得性が保たれた人事評価を実施する。ストレスチェックと並行してセルフケア研修を実施して長期休職者の未然防止に努める。	
総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		2	公共施設マネジメントの推進			
施策		1	安全・安心で最適な公共施設の運営			
担当 部署	主管課	財政課		責任者	主管課	渥美 秀和
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 公共建築物の維持管理の最適化 2. 公共建築物の配置の最適化 3. インフラ資産の維持管理の最適化と老朽化対策
---------	--

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出	0	0	0	0
	県支出	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
合計(千円)		0	0	0	0

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	公共施設マネジメント推進のため、公共施設白書の更新を行っている。
	今後の施策展開	課題	公共施設白書の基礎データを活用し、将来像を描いた公共施設等総合管理計画の改定を行うことが課題である。
公共施設等総合管理計画を基に、保有量の最適化を行い、最適な公共施設の運営を図る。			
総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度												
No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	市民の公共施設マネジメントに関する容認度	%	目標	－	84.3	85.2	86	86.9	87	B	92	86.6%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	－	74.6	74.3	74.4	69.8	75.3			
2	公共施設等総合管理計画（方針編公共建築物）に掲げた施設別長寿命化計画の策定の達成率	%	目標	－	43.6	57.7	71.8	85.9	100	A	100	100.0%
	（長寿命化計画がない施設は個別施設計画）		実績	15.4	23.1	30.8	30.8	44.8	100			
3	施設別長寿命化計画の進捗率	%	目標	－	－	－	－	－	－	D	50	
			実績	－	－	－	－	－	－			
4	公共施設等総合管理計画（方針編公共建築物）に掲げた最適配置計画の策定の達成率	%	目標	－	33.3	50.0	66.7	83.3	100	D	100	0.0%
			実績	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0			
5	最適配置計画の進捗率	%	目標	－	－	－	－	－	－	D	50	
			実績	－	－	－	－	－	－			
6	公共施設等総合管理計画（方針編インフラ資産）に掲げた中長期管理計画の策定取り組みの達成率	%	目標	－	36.3	43.4	50.5	57.6	61.1	A	100	163.7%
	（長寿命化計画がないインフラは個別施設計画）		実績	22.2	38.9	38.9	60.0	60.0	100			

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費（千円）	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度）の方針
課名	係名				指標名	単位							
財政課	資産経営係	4.5	公共施設最適配置構想の検討	0	公共施設マネジメント庁内推進会議ワーキング部会の開催	回	0	0	0	0	公共施設等総合管理計画が予算編成や総合計画等の各種計画とリンクしていないため、ワーキング部会の方向性を示すことができない。	公共施設等総合管理計画の改訂を通じて、予算編成や各種計画等とリンクしたワーキング部会への改善を進めていく。	改善・効率化
財政課	資産経営係	2.3.6	個別施設計画策定の進捗状況管理	0	施設所管課への進捗状況ヒアリング	回	1	1	3	－	令和2年度末に完了		終了
財政課	資産経営係	1	公共施設等総合管理計画の改訂及び公表	0	平成26年に策定した計画の改訂及び公表	回	－	－	－	1	計画に方針や課題を掲げるだけでなく、より実効性のある内容とする必要がある。	計画の改訂にあたり、個別施策計画を踏まえた内容に変更していく。	改善・効率化

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		3	健全で効果的な財政運営			
施策		1	経営感覚を生かした財政運営			
担当 部署	主管課	財政課		責任者	主管課	渥美 秀和
	関係課	税務課			関係課	水野 正章

施策の柱・目標	1. 計画的な財政運営の推進 2. 効率的な予算執行の推進 3. 安定した財政基盤の確保
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	経常収支比率	%	目標		83.0	83.5	84.0	84.5	85.0	B	85.0	99.1%
	(目標値以下にする)		実績	82.5	83.5	84.2	85.9	87.2	85.8			
2	公会計財務書類の認知度	%	目標		4.0	8.0	12.0	16.0	20.0	D	40.0	***
	市民意識調査アンケートの数値		実績	—	10.7	11.5	11.6	13.4				
3	自主財源比率	%	目標		64.0	63.0	62.0	61.0	60.0	A	60.0	132.5%
	(目標値以上にする)		実績	66.0	69.9	68.9	64.6	58.3	45.3			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
財政課	財政係	1	中長期財政計画の策定	0	年度末財政調整基金残高	千円	4,342,537	3,541,000	3,857,068	3,357,000	新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止や国からの臨時交付金により財政調整基金からの繰入額を最小(当初予算額)に抑えることができた。財政調整基金からの年度繰入予定額は、計画どおりに進捗している。	財政調整基金からの繰入額を令和3年度は5億円以内に抑え、令和4年度からは繰入をすることなく予算編成を行うことで実質単年度収支を黒字にしていきたい。	現状維持
財政課	財政係	2	公会計財務書類の作成と公表	3,014	公表する時期	年月	R1.5	R2.5	R2.5	R3.5	各種指標の年度間推移をグラフ化することで、視覚的に理解し易い資料にした。公会計での成果を今後の政策に役立てるところまで活用できていない。	公会計の成果を公共施設分野の政策(施設の適正配置、適正な使用料の設定)に活用していきたい。	拡大
税務課	管理収納係	3	市税の徴収率向上	0	徴収率	%	97.8	98.0	97.6	98.0	新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予件数の増加、相談件数の減少により、収納率は前年を下回り、目標値を達成できなかった。	今後も支払困難者への柔軟な対応を心掛けるとともに、キャッシュレス決済の導入など、社会情勢や市民のニーズに合わせた収納方法を検討していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	0	0	0	0
	県支出	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,458	4,013	3,871	3,819
合計(千円)		8,471	4,013	3,871	3,819

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらもいえない
		説明	経常収支比率が、平成28年度83.5%だったものが令和2年度には85.8%に上昇している。財政調整基金は、平成28年度80億だったものが令和2年度で39億円に減少している。地方債残高は、平成28年度23億円だったものが、和2年度69億円に上昇している。
	今後の施策展開	課題	経常支出の削減を図り、財政調整基金の繰入に依存しない予算編成と、投資的事業には過度とならない地方債を活用することが課題である。
総合評価	4	【施策の進捗状況・評価】	
		5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらもいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】						
基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		4	安全性・透明性の高い情報活用			
施策		1	市民の利便性を高める情報化への環境整備			
担当 部署	主管課	財政課		責任者	主管課	渥美 秀和
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 情報システムの最適化 2. ケーブルテレビを活用した情報提供 3. 情報セキュリティ対策の強化
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】													対R2年度
No.	指標名(下段:指標の説明)	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度	
1	電子申請可能率	%	目標		25	30	40	50	60	A	100	183.3%	
	電子申請可能項目数		実績	20	20	90	90	115	110				
2	ケーブルテレビ加入率	%	目標		62.8	63.8	64.9	65.9	67.0	B	72.0	85.2%	
	全世帯数に対するケーブルテレビ利用率		実績	61.8	58.6	56.1	55.5	56.2	57.1				
3	セキュリティ事故発生率	%	目標		0	0	0	0	0	A	0	100.0%	
	事故対応日数		実績	0	10.1	0	0	0	0				
4			目標										
			実績										
5			目標										
			実績										
6			目標										
			実績										

【施策を実現するための業務とその状況】													
担当部署		指標No.	業務名	R2年度 事業費 (千円)	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度) の方針
課名	係名				指標名	単位							
財政課	情報管理係	1	電子申請等の利便性向上	0	電子申請システム各課打合せ	回	3	3	3	10	各課への調整を実施し、電子申請の登録を実施した。	申請できる内容を精査し、今後も各課に依頼するとともにヒアリングを実施していく。	現状維持
財政課	情報管理係	1	電子申請等の利便性向上	0	電子申請システム申請書の新規作成・変更	件	5	5	1	1	市HPに登録したる電子申請リンクの変更(削除)を行い最新の状態にした。電子申請が実施できる項目を精査し、登録件数を増やす。	令和4年度導入に向けて、新たな電子申請システムを検討する。	現状維持
財政課	情報管理係	2	CATV施設の環境整備	4,963	施設等更新	工事	1	1	1	1	対応年数が過ぎた施設等の譲渡し、今後の経費削減に努めた。	計画的に施設修繕できるように更新内容を精査する。	現状維持
財政課	情報管理係	2	市民サービス維持・向上	11	検討及び協議実施	回	1	1	1	1	FTTH化構築工事が完成し、加入率の上昇に向けサービスの向上を図る。データ放送と連携した地域情報アプリをリリースし、情報提供に努めた。	加入率増に向けて、今後も市民にとってより良いサービス提供ができるように検討していく。	現状維持
財政課	情報管理係	3	電子データの保護・管理	0	セキュリティ研修実施	%	100	100	100	100	全職員(臨時職員等を含む)に研修を実施し、受講率100%を達成した。	引き続き全職員にe-ラーニング研修を実施し、100%の受講を達成する。	現状維持
財政課	情報管理係	3	不審メール注意喚起	-	適正対応	-	適正	適正	適正	適正	セキュリティ研修や国及び県からの情報提供を実施し、注意喚起を実施したが、サイバー攻撃は年々巧妙化しているため注意が必要である。	引き続き国や県からの情報提供を実施し、注意を促す。	現状維持

【投入されたコスト】					
投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費 (財源内訳)	国支出	0	0	0	0点
	県支出	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	10,140	5,019	4,974	4,519
合計(千円)		10,140	5,019	4,974	4,519

【進捗評価】 A 100%以上 B 75%以上100%未満 C 50%以上75%未満 D 50%未満
--

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】			
主管課 評価	施策の 進捗状況	評価	4. 概ね施策目標を達成している
		説明	電子申請環境は整備することができた。ケーブルテレビの加入状況は、平成30年度から若干の改善がみられる。
		課題	ケーブルテレビの加入率を上げ、市民への有益な情報提供を行えるか課題である。
総合 評価	今後の 施策 展開	ケーブルテレビへの資産譲渡を進め、自立経営に導いていく。時間と場所の制約の少ないEラーニングを活用して、情報セキュリティ能力の向上に努めたい。	
	4	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		4	安全性・透明性の高い情報活用			
施策		2	市民ニーズにあった情報の提供と共有			
担当 部署	主管課	総務課		責任者	主管課	高塚 高寿
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 市民ニーズにあった情報提供 2. 市民と行政のコミュニケーションを深める情報共有
---------	--

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標（R7）	達成度
1	市政情報で市民が必要だと考えた情報が手に入ったという割合 最低80%の評価をキープする。	%	目標 実績	 —	80 84.2	80 63.1	80 64.3	80 60.5	80 65.0	B	85	81.3%
2	ひらめき提案箱への40歳未満からの提案割合	%	目標 実績	 —	設置 —	15 50	20 66.6	25 62.5	30 50	A	50	166.7%
3			目標 実績	 								
4			目標 実績	 								
5			目標 実績	 								
6			目標 実績	 								

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標 No.	業務名	R2年度 事業費 （千円）	活動指標又は成果指標		R1年度 実績	R2年度 目標	R2年度 実績	R3年度 目標	評価（課題、問題点など）	業務改善の方向性	今後（R3年度） の方針
課名	係名				指標名	単位							
総務課	秘書広報係	1	広報紙による情報発信	7,308	広報紙に対する満足度	%	60.8%	80.0%	65.0%	85.0%	スマホなどの普及やWEBを利用したさまざまな情報配信ツールがある中で、生産年齢人口層の紙離れが進んでいる。このような時代に、住民の広報誌に対する満足度を向上させるためには、編集技術の向上を図る必要がある。	広報誌の編集技術向上はもちろんのこと、紙離れする年齢層にも情報を届けるため、LINEなどのWEBでも広報紙の内容を配信していく。	廃止
総務課	秘書広報係	1	さまざまなツールを利用した情報発信	781	適正対応		ホームページ フェイスブック ツイッター パブリシティ インスタグラム	ホームページ フェイスブック ツイッター パブリシティ インスタグラム LINE	ホームページ フェイスブック ツイッター パブリシティ インスタグラム LINE	ホームページ フェイスブック ツイッター パブリシティ インスタグラム LINE	令和2年度より無料コミュニケーションアプリ「LINE」の運用を開始した。令和3年1月からは情報配信システムを導入し、セグメント配信も行っている。令和2年1月時点の友だち登録者数は1516人で、友だち登録者数を増やすことが今後の課題である。	LINEは、フェイスブックやツイッター、インスタグラムといったSNSに比べ利用者が多く、友だち登録者数を増やすことができれば有効な情報配信ツールとなる。今後はメニューや機能の拡張を検討し、持ち運べる市役所として役割を担えるようなツールとしたい。	改善・効率化
総務課	秘書広報係	2	市政懇談会の開催	0	8地区での開催	地区	7地区	8地区	0地区	8地区	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年実施していた「まちづくりふれあいトーク」は開催しなかった。その代わりにひらめき提案箱を募集し、広聴事業とした。	新型コロナウイルスの終息が見えない中、広聴だけでなく、行政の説明責任も果たすため、WEBを活用した取り組みも必要と考える。YouTubeやCATVの活用を視野に入れていく。	統合
総務課	秘書広報係	2	ひらめき提案箱の設置及び運用	0	設置及び運用開始	%	62.5%	70.0%	50	70.0%	ひらめき提案箱（まちづくりふれあいトーク分を除く）への提案総数は27件だった。一方、限られた人からの提案が目立つ上に、本来の主旨からは乖離している内容となっている。	令和2年度は小学生からの提案があった。子どもたちから意見や考えを提案してもらう機会も検討したい。将来的な提案数の増加につながる可能性がある。	統合

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他	660	660	615	600
	一般財源	7,906	8,270	7,474	7,932
合計(千円)		8,566	8,930	8,089	8,532

【進捗評価】

A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	3. どちらともいえない
		説明	情報発信ツールとして、LINEの運用を開始した。コロナ禍で「ひらめき提案箱」により、広聴事業を実施した。
	課題	成果指標としている「市政情報で市民が必要だと考えた情報が手に入った」は目標値を下回った。その要因の1つとして、生産年齢人口層の紙離れが顕著であることが挙げられる。時代に対応するためWEBを活用した情報発信ツールのさらなる活用が求められている。コロナ禍での広聴事業も新たな方法の模索が必要である。	
	今後の施策展開	引き続き、広報誌の編集技術向上に努めるとともに、情報発信ツールとしてLINEを積極的に活用していきたい。広聴事業についても、紙媒体と並行してWEBを活用した方法を模索していく。	
総合評価	3	【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である	

【政策・施策名】

基本目標		6	市民とともに経営する自律したまち			
政策		5	広域連携による効率的な行政運営			
施策		1	広域的な課題解決への対応			
担当 部署	主管課	企画政策課		責任者	主管課	清水 正明
	関係課				関係課	

施策の柱・目標	1. 周辺自治体や圏域を超えた広域連携の推進 2. 新たな広域連携の推進
---------	---

【第2次御前崎市総合計画における成果指標】

対R2年度

No.	指標名（下段：指標の説明）	単位		基準値(H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	進捗評価	最終目標(R7)	達成度
1	周辺自治体との広域連携による組織の数	件	目標		8	8	8	8	9	A	10	111.1%
	広域的な課題解決に取り組む会議などの数		実績	8	8	8	10	10	10			
2	新たに圏域を超え広域連携し、事務効率化が向上した数	件	目標		0	0	0	0	1	D	2	0.0%
	圏域を超えた連携により行政事務が効率化された数		実績	0	0	0	0	0	0			
3	近隣市町との広域的な事務の取組に満足している市民の割合	%	目標		56.0	56.3	56.5	56.8	57.0	D	59.0	38.1%
	市民意識調査アンケートの数値		実績	55.8	7.9	7.0	8.2	6.7	21.7			
4			目標									
			実績									
5			目標									
			実績									
6			目標									
			実績									

【施策を実現するための業務とその状況】

担当部署		指標No.	業務名	R2年度事業費(千円)	活動指標又は成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標	評価(課題、問題点など)	業務改善の方向性	今後(R3年度)の方針
課名	係名				指標名	単位							
企画政策課	企画係	1	周辺自治体との広域連携の推進	747	広域連携組織数	件	10	10	10	10	各種会議へ参加し、広域課題に対する意見を発した。引き続き情報共有を含め会議へ参加する必要がある。	各種会議へ引き続き参加し情報共有を図るとともに、リニア問題などの重要な案件では市町間での団結を図る。	現状維持
企画政策課	企画係	2	事務効率化の推進	0	事務効率化が向上した数	件	0	1	0	***	各市町で課題は様々であり、広域で取り組むべき共通課題を洗い出す必要がある。	企画政策課の業務だけにとらわれず、税や教育、健康といった様々分野を検討していく。	現状維持
企画政策課	企画係	3	近隣市町との広域的な事務の取組の推進	0	広域的な事務の取組に満足している市民の割合	%	6.7	57.0	21.7	***	市民には広域的な事務の取組がイメージしづらく、進捗状況がわかりにくい。	広域的に取り組んでいる事業を新規の取組だけでなく、広く周知していく。	現状維持

【投入されたコスト】

投入コスト(千円)		R1年度決算	R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算
事業費（財源内訳）	国支出				
	県支出				
	地方債				
	その他				
	一般財源	803	879	747	803
合計(千円)		1,682	879	747	803

【進捗評価】
A 100%以上
B 75%以上100%未満
C 50%以上75%未満
D 50%未満

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

主管課評価	施策の進捗状況	評価	2. やや施策目標に達していない
		説明	広域行政会議は県を交えての開催や、各地域の市町で開催されるものと様々である。近年、情報化社会の進展により市民ニーズも多様化しているため、広域による課題解決の必要性は高まっている。本市も各種会議に参加し、情報共有を図るとともに近隣市町との連携を模索している。
	課題		市町間で考え方の違いや慣例等があり、これらの課題をクリアし解決するまでには時間がかかるため、具体的な連携案が出た場合は早期に協議する必要がある。また、市民に取組をわかりやすく周知していく必要がある。
今後の施策展開			引き続き各種会議に参加し情報共有を図るとともに、近隣市町との連携を密に行い、広域連携に向けて検討していく。
総合評価	2		【施策の進捗状況・評価】 5. 施策目標を十分達成している 4. 概ね施策目標を達成している 3. どちらともいえない 2. やや施策目標に達していない 1. 施策目標の達成には遠く、早急な見直しが必要である